

インターネットを長時間使うことによるリスク

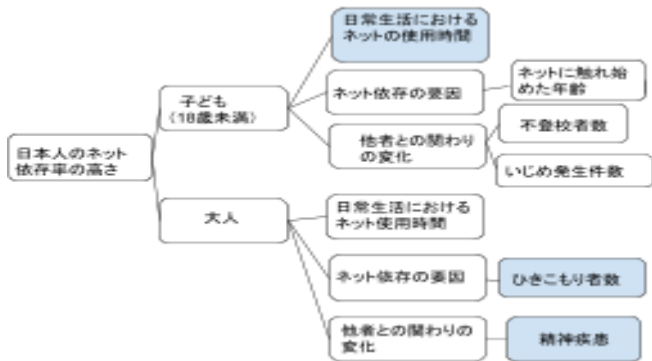
1組 1班 名前 岩田好未、大河原凜子、岡田璃央、小野美祐

1. 序論

a. 研究の動機・目的

国語の教材で、日本人は電車で皆スマホを見ているという内容のものを見て、日本人は外国に比べてネット使用率が高く、ネットに依存している人が多いのではないかと考えた。なので、ネットに依存することで、どのような影響を受けるのか調べてみることにした。

b. 研究の方法と手順



C. データセットの加工 本研究で使したデータ名とその出典

出典	年次	データ名
e-Start 統計で見る日本	2020	日本人人口、精神疾患患者数
統計から紐解く日本の実情	2022	ひきこもり
J-Stage	2017	ネット依存

2. データ分析の結果

a. 引きこもりと精神病について

○ネット依存とは

- ・インターネットやゲームに道楽にのめり込んでしまう
- ・自分でやめようと思ってもやめられない
- ・ネットにつながないと不安になる
- ・ネット・ゲームのやりすぎで健康が悪化している

インターネットにつながるスマートフォンやケータイが手の届くところになり、不安に陥り落ち着かなくなったりするものが「ネット依存」

○ひきこもりについて

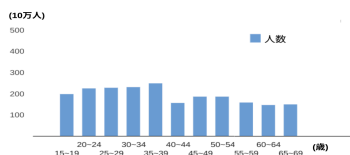
<ひきこもりの定義>

具体的には、以下の4項目のいずれかが6ヶ月以上続いた場合、ひきこもりと判断される。

- ・趣味や用事の時だけ外出する
- ・近所のコンビニなどには出かける
- ・自室からは出るが、家からは出ない
- ・自室からほとんど出ない
- <主な原因>
- ・社会的要因 例)職場や人間関係や思春期の思惑、文化的な背景
- ・家庭的要因 例)どのような家庭のどのような子どもも、ひきこもりになりうる！
- ・病気や障害 例)統合失調症や不安障害等

原因は様々で、色々な要因が考えられる。

引きこもりと聞いて学生をイメージする人が多いと思うが、近年は高齢者のひきこもりも問題になっているらしい。コロナによる影響も関係していると思われる。



グラフからは、15～39歳にかけて若干の増加傾向が見られた。40歳以上の年齢も大幅に減少していないことから、どの年代でも一定層の患者がいることが分かった。

○精神疾患について

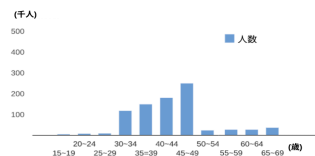
<精神疾患とは>

眠れない、気分の落ち込み、ひきこもり、不安、それ耳鳴、ひどく疑い深くなる、物忘れなどの症状が出る。認知、思考、感情、意欲、自我などの心の機能の障害が症状として表れる。病気の種類によって症状も異なる。

<主な原因>

- ・脳機能の障害等の生物学的要因
- ・個人の考え方や心理的要因
- ・疲労や睡眠不足による身体的要因

・人間関係のトラブルや環境不安による社会的要因等が関係している



上記のグラフからは、30代から40代の患者が多く、その間年齢が上がると増加している傾向が見られた。おそらく体の衰えや仕事の疲れによる身体的要因、職場の人間関係等の社会的要因が深く関係していると思われる。

b. 相関関係【ネット依存2017 データ年代別】

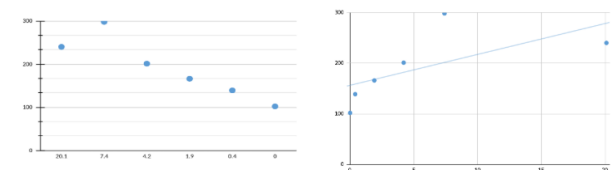


図1:縦軸:インターネット使用時間 横軸:ネット依存率 相関係数:0.65(n.s.)

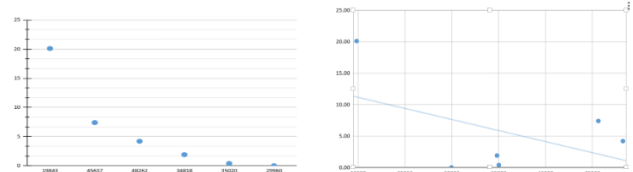


図2:縦軸:ネット依存率 横軸:ひきこもり人数(百人) 相関関係:-0.48(n.s.)

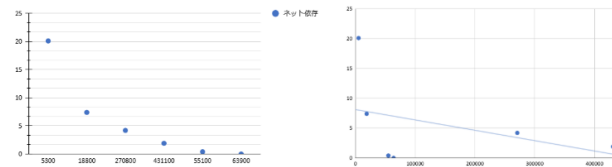


図3:縦軸:ネット依存率 横軸:精神疾患患者 相関関係:-0.39

C.これらの相関グラフから読み取れること

1つ目のグラフには0.65の強い相関が見られる。殆どの年代でスマホ使用時間が多のに比例して依存率も高くなっていったが、20代では使用時間が全年代で最も多いものの依存率はそこまで高くないという結果が出た。2つ目と3つ目のグラフでは-0.4前後の負の相関が見られた。スマホ依存率が高くなるにつれてひきこもり人数は少なくなると思われる。

上記の2つとも日本人人口との相関を調べた。その結果、0.53と0.59という近い値の相関が出たことから、精神疾患とひきこもりにも、0.54近くの相関がでると考えられる。

45歳～49歳のところまでどちらも1に近い正の相関である。よって49歳まではひきこもりも精神疾患も増加しているといえる。しかし50歳からは、年齢が上がると共に減少している。これらの傾向になる原因はまず若い時は仕事関係、人間関係など、若いからこその悩みを抱えている人が全体の大半を占めているためそれに比べると、必然的にこのような傾向にあるのではないかと考えた。また、高齢になって解決したり、克服したりする人もいないのではないかと考えた。

3. 結果の解釈

図1を見ると、インターネットの使用時間が長いほどネット依存率が高いため、より長い時間ネットに関わっているとネットから抜け出せなくなることが予想される。このことから、インターネットには中毒性があり使えば使うほど離れられなくなるサイクルができてしまっているのだと考えられた。ひきこもりは40代～50代の人が一番多いという人が多く、仕事などが安定している時期なのになぜひきこもりが多くなるのか疑問に思った。そこで、うつ病になりやすい年代を調べてみたところ、40代～50代と出た。【この時期は、キャリアの節目や家庭内での役割変化、親の介護など多くのストレス要因が重なりやすい背景があります。また、加齢と共に体力や健康面での不安が増えることも、精神的な負担として影響を及ぼすことが考えられています。(新宿よりいクリニック引用)】とあった。このことから、今まで仕事面ばかり目を向けていた年代も、家族との関係、単純に加齢も原因になっていると思った。

図2から、年代によってネット依存率が大きく異なっていることが読み取れる。若い年代から高齢の年代にかけて下がり、10代に関しては20%の人がネット依存で、60代に関しては0%である。ひきこもり人数はネット依存率に比例しておらず、相関は特にみられなかった。

図3から、精神疾患を患っている人はあまりインターネットを使っていないことが読み取れる。

4. 今後の展望

今回の研究では日本のネット依存率の高さの要因を分析し、そこからどのような傾向がみられるか調べた。は比例しておらず次の研究段階として、海外とも比較していきたい。この研究結果から、幼い頃からのネット使用時間を制限していく必要があると思う。

5. 参考文献

・新宿よりいクリニック

依存症の原因と影響

1組2班 名前 1113 小泉舞香 1115 小林奏絵 1117 清水智慧 1133 松本梨愛

1. 序論

a. 研究の動機・目的

本研究の目的は、多くを社会に要求されストレスフルな現代人が、依存度の高いものに傾倒し人生に多大なる影響をもたらしている今日状況に対して、原因の理解と依存の結果を数値としてあらわし認識することにより、リスク管理を含め現代の社会問題について改めて考え見直すことにある。

今回の研究テーマを設定した背景としては、教育用標準データセット SSDSE のデータを閲覧していた際、「パチンコ」に関するデータを見つけ興味をもち、パチンコ依存からさらに広げて「依存症」についてやろうということになったというものがある。他にも身近な依存症にはアルコール依存症、ギャンブル依存症、薬物依存症、インターネット依存症などがあり、どれも人生に重大な影響を与える可能性がある。そこで、文献・インターネット調査の実施により依存の原因を様々な観点から検討し、統計を利用して数値として比較することで影響度を分析した。

b. 研究の方法と手順

本研究の目的を①依存症の原因を知る(文献調査)②依存症の影響を分析する(統計分析)とする。①については、主として「科学的要因」「心理的要因」「環境要因」の三つの要素に分類して調査した。②については、「社会生活への影響」「健康への影響」に分けて調査した。仮説、および、データ分析の着眼点についてはロジックツリーでまとめた。



c. データセットの加工

d. 本研究で使ったデータ名とその出典

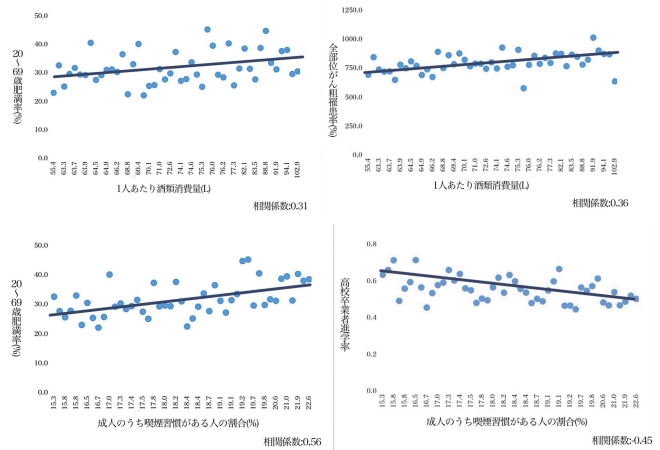
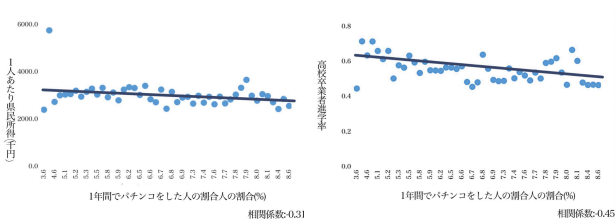
データ名	年次	出典
過去1年間にパチンコをした人の割合(%)	2023	SSDSE-D
高校卒業生数	2021	SSDSE-B
高校卒業生のうち進学者数	2021	SSDSE-B
1人あたり県民所得(千円)	2019	SSDSE-E
全部がん粗罹患率(%)	2020	e-stat.go.jp
成人1人当たりの酒類販売(消費)数量	2022	国税庁
都道府県別肥満者の割合	2010	e-stat.go.jp
都道府県別成人喫煙率	2019	ganjoho.jp

2. 文献調査とデータ分析の結果

a. 依存症の原因(文献)

- ・依存症には脳の報酬系という部分とドーパミンが関係している。報酬系の異常によって、強迫観念、認知のゆがみなどが現れる。
- ・感情のコントロールが困難な時、また、トラウマや自己肯定感の低さによって、外部の刺激や快楽に依存しやすくなる。
- ・家族など身近な人の影響は大きく、また、人間関係や貧困など社会的孤立の状態にあると依存行動を引き起こす一因となる。

b. 依存症の影響(データ)



それぞれの図から、喫煙習慣がある人や酒類消費量が多い人ほど肥満率が高い。また、1年間でパチンコをした人の割合や喫煙習慣がある人の割合が高いほど、高校進学率は低くなっている。一人当たりの酒類消費量が多い人ほど全がん粗罹患率が高いこともわかる。以上のことから、タバコや酒類に依存している人は健康に悪影響がある。パチンコや喫煙習慣がある人ほど進学率への影響があることがわかる。また、1人あたり県民所得が高い県ほどパチンコをした人の割合が少ないことがわかる。

3. 結果の解釈

以上の結果から、一般に依存症の原因となる飲酒、タバコなどの要素より、肥満やがんなどで健康が害されることがわかった。タバコの物質は直接的に肥満と関係は無いものの、喫煙率と肥満率に高い相関が見られたことから、タバコを習慣的に吸うような人は生活環境が悪く、それが肥満につながることを推測できる。また、高校卒業生進学率が低い、経済状況が悪いなどの環境とギャンブル習慣や喫煙習慣が関係していることがわかる。以上より調査した飲酒、タバコ、ギャンブルなど依存症の原因となる要素は不健康や環境の乱れと深い関係があり、またこれらに依存してしまうとさらに悪い状況になって人生が破綻してしまうことも推測できる。依存症に振り回されないようにするには、生活習慣を見直し、経済的にも精神的にも安定した生活を送ること、そして、強い意志をもって依存症のリスクを回避する必要がある。

4. 今後の展望

今回の研究では、依存症のデメリットについて詳しく調査したので、次の段階として、依存性がある物質の適切な摂取方法とその効用について分析したい。そうすれば、より依存症との正しい付き合い方について理解できると考える。

5. 参考文献

- ・ 快楽の脳科学・日本依存協会の報告書

群馬県とベトナムの関係

1組 3班 名前 1134 丸岡美羽 1136 宮川真桜 1139 八木彩里 1140 山本夏海

1. 序論

①研究の動機・目的

本研究は普段群馬県内で外国の方をよく見かけるといふ現状に目を向け、要因と目的を探り外国人の方々に対して理解を深める。

②研究の方法と手順

本研究は群馬県内の外国人住民数に着目し、そこで技能実習生としてのベトナムの割合が高かったことから相関係数や様々なデータを用いながら群馬県とベトナムの様々な視点からの関係を深く調べた。

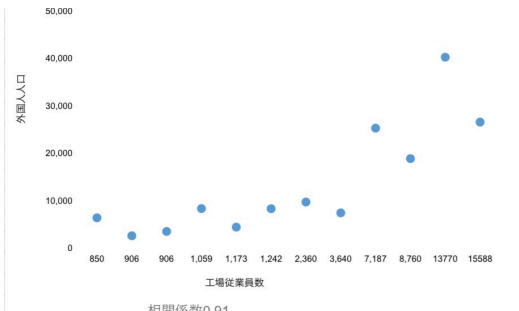
データセットの加工

本研究で使ったデータ名とその出典

データ名	年次	出典
在留外国人統計	2023年	e-Start
工場統計調査 市町村編	2024年	e-Start

2. データ分析の結果

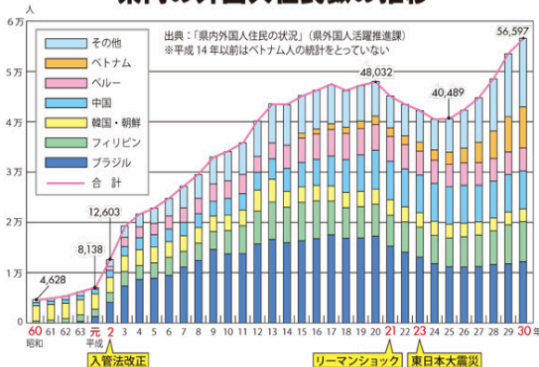
①日本国内の外国人の状況



相関係数は0.91と高くなっている。工場従業員数と外国人労働者の数は比例するようになっており、多くの外国人労働者が工場に勤務していると考えられる。

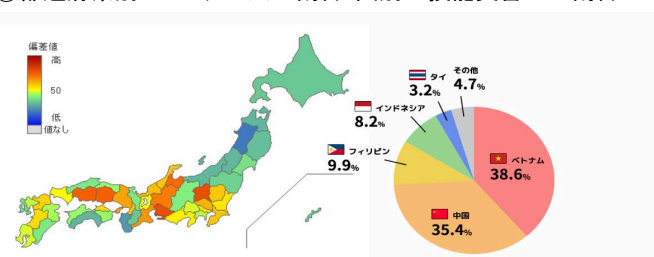
②群馬県内の外国人の状況

県内の外国人住民数の推移



2014年頃からベトナムの割合が高まっていることから、群馬県とベトナムの関わりが深まったと考えられる。

③都道府県別のベトナム人の割合・国別の技能実習生の割合



群馬県のベトナム人割合の高さ、技能実習生のベトナムの割合の高さから、群馬県に住むベトナム人も技能実習生である人が多いと考えられる

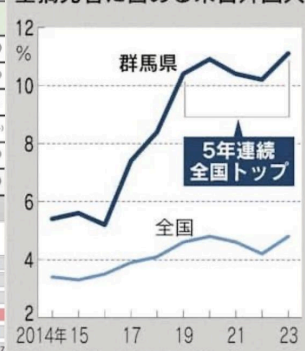
③ベトナム技能実習生の現状

表6：借金の総額の平均値（国籍別）

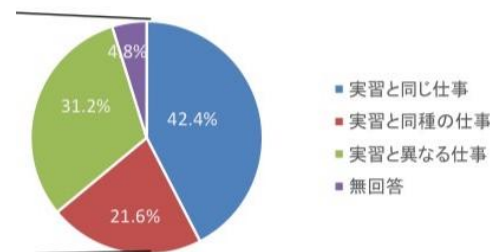
借金総額	平均値（円）	【参考】母国通貨
ベトナム (n=618)	674,480	133,666,258 (ドン)
カンボジア (n=65)	566,889	20,031,403 (リル)
中国 (n=50)	528,847	29,146 (元)
ミャンマー (n=44)	315,561	4,866,767 (kyat)
インドネシア (n=130)	282,417	34,978,561 (rupiah)
フィリピン (n=86)	153,908	68,131 (ペソ)
全体 (n=993)	547,788	—

	※10万円未満	※10万円以上15万円未満	※15万円以上20万円未満	※20万円以上
全体 (n=993)	27.7	34.4	27.7	8.9
ベトナム (n=618)	42.3	34.4	46.2	11.5
カンボジア (n=65)	3.3	13.3	63.3	20.0
中国 (n=50)	60.0	—	40.0	—
ミャンマー (n=44)	5.3	45.7	34.3	2.9
インドネシア (n=130)	37.4	35.8	21.1	5.7
フィリピン (n=86)	—	—	—	—

全摘発者に占める来日外国人



群馬県は摘発者に占める来日外国人の割合が高く、中でもベトナムが49.7%を占めている現状はベトナムの他国と比較した借金の総額の多さと平均月収の低さなどの経済的背景が技能実習生の生活に影響を与えていると考えられる。



帰国後は実習と同じ仕事についている割合が高いことから、群馬県で得た技術が母国で生かされていることがわかる。

3. 結果の解釈

群馬県は工場立地件数が全国4位と多いのでそれに比例して外国人労働者も多くなっている。群馬にベトナム人が多いことにもそのことが関係していると考えられる。ベトナム人技能実習生は、母国の送り出し機関や仲介者に多額の手数料を払っているため借金総額が高い。月収が低い理由は、ベトナム語は他の国と比べて、日本語と文法や発音が大きく異なるため日本語の習得が難しく職種が限定されてしまうからだと考えられる。それに加えて母国への仕送りもしなければならぬため、ベトナム人技能実習生は経済的に困難な状況にあると考えられる。

4. 今後の展望

今回の研究では、群馬県とベトナムについて深く調べた。他の国や、他の都道府県と比較しながらさらに細かい情報を取り入れ、考えを深められたら良かった。ベトナム人技能実習生が日本で技術を学び、それを母国で活かせる仕組みを作ることが重要だと思われる。そのためにはベトナム国内での送り出し機関に対する規制を強化したり、日本国内での労働条件の改善をしたりすることが必要だ。またベトナム協会に入会することでイベントやセミナーで同じ境遇の人と情報交換をすることで貧困から抜け出せるだろう。

5. 参考文献

<https://www.nikkei.com/telling/DGXZTS00009790W4A32>

<https://www.pref.gunma.jp/uploaded/attachment/11415.pdf>

<https://www.pref.gunma.jp/site/gaikokujinzai/176422.html>

食と寿命の関係性について

2組 1班 名前 東桜 新井涼巴 板倉菜花 岩井彩良

1. 序論

a. 研究の動機・目的

健康に悪いと言われている食べ物が本当に健康と因果関係があるのか調べてみたいという目的で今回の研究を行った。



b. 研究の方法と手順

文献を参考にして健康に悪い食品について都道府県別の消費量を調べ、日本の平均寿命との関連性を相関係数として出した。

c. データセットの加工

本研究で使用したデータ名とその出典

データ名	年次	出典
SSDSE-C-2024	2024	独立法人 統計センター
日本の平均寿命と推移	2023	エレミニスト編集部
都道府県別生鮮魚介消費量	2017	とどらん

2. データ分析の結果

a. 食塩について

・塩分濃度が高くなると体液量が増えるため、その水分すなわち血液を送り出すために心臓の働きが活発化⇒血管に負荷がかかり血圧の上昇し高血圧を引き起こす

結果: 0.22 統計的に信頼がない。

b. 酒類について

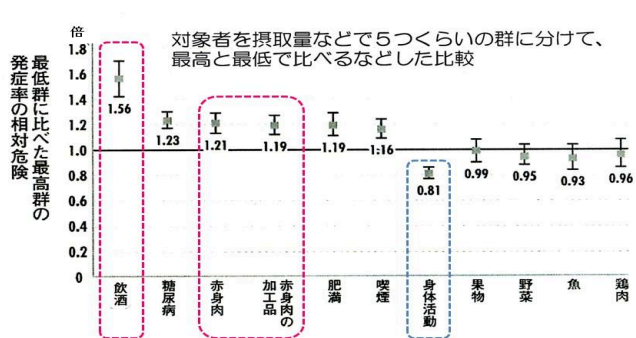
・適量なら「百薬の長」、飲み過ぎは「万病の元」と言われており健康と深い関係があると思った。

結果: -0.23 統計的に信頼性がない。

⇒この他にも、調べた内容は統計的な信頼性に乏しいものばかりで、調査方法が適していなかったため文献調査に切り替えた。県別の消費量に有意差が見られなかった事が原因だと考えられる。

○加工肉 例) ハム、ソーセージ、缶詰肉、食肉調製品

国際がん研究機関(IARC)が2015年10月に加工肉等の発がん性について発表した。発表概要は毎日50グラム以上摂取でがんのリスクが18%増加するというものだった。



○アルコール飲料

IARCは、「アルコール飲料は、飲酒習慣はがんのリスク(ヒトに対して発がん性がある)」と結論づけている。アルコール飲料中のエタノールとその代謝産物のアセトアルデヒドの両方に発がん性がある。

○魚

オメガ3系脂肪酸が含まれており、DHAやEPA、DPAなどが挙げられる。DHAやEPAなどのオメガ3脂肪酸は、サバ、イワシなどの青魚に多く含まれる。これまでの研究でも、心臓に良い脂肪酸やタンパク質が豊富な魚を食べると、血中オメガ3脂肪酸が高くなり、心臓病による死亡リスクが下がることが確かめられている。

○肉類

「宗教による肉 食制限の実態と平均寿命の国別比較」という論文をもとに牛肉などの肉食を制限がヒンドゥー教徒とその他 宗教上の理由で肉食が制限されている国と日本を比較してみた。結果としてインフラの整備が行き届いていないことやGDPの低さが原因となっていることは否めないものの肉食を 行っていない国は一律に平均寿命が低い傾向にあるといえる。また日本も肉食を始める以前と以後では寿命を大幅に伸ばしていると言われている。

3. 結果の解釈

健康に害があるとされるものには、化学物質が含まれている。IARCは「発がん物質に関する基準」を定めているため、それに目を通すとよいと思った。今回調査した悪影響を及ぼすと考えられる食品には総じて過剰摂取しない限りそこまで害はないと書かれていた。適量を守った摂取とバランスの良い食事をしていくことが長生きの秘訣だと考えられる。

グループ	例
1 人に対して発がん性がある Carcinogenic to humans	コールタール、アスベスト、タバコ、アルコール飲料、X線、ガンマ線など
2A 人に対しておそらく発がん性がある (Probably)	ホルムアルデヒド、ディーゼルエンジンの排ガス、紫外線 など
2B 人に対して発がん性があるかもしれない (Possibly)	コーヒー、ワラビ、漬物など
3 人に対する発がん性があると分類できない (Cannot be classified)	カフェイン、お茶 など
4 人に対しておそらく発がん性がない (Probably not carcinogenic)	ナイロンの原料(カプロラクタム)

4. 今後の展望

今回の調査は日本国内だけにとどまったが、次の研究段階として世界各国と比較したり、歴史的背景も視野に入れて調べてみたいと思う。比較対象や視野を広げることでより精密な調査結果を得られ、健康と食の意外な関係性を見つけることができると考える。

5. 参考文献

<https://todo-ran.com/>
<https://www.nli-research.co.jp/report/detail/id=62032?pno=2&site=nli>
<https://www.esquire.com/jp/menshealth/wellness/g180899/lifestyle-health-food-kill-you-181002/>
<https://dm-net.co.jp/calendar/2013/020099.php>
https://blog.sophiawoodsinstitute.com/wp/who_classification_on_red_meats/
<https://www.cancerit.jp/gann-kiji-itan/syoukakigann/daiyougann/post-62583.html>
https://www.maff.go.jp/j/syouan/seisaku/risk_analysis/priority/hazard_chm/meat.html

日本人の肥満の要因

2組 2班 名前 岡田 上柿 菊池 久保田

1. 序論

a. 研究の動機・目的

1. 研究の目的

日本人における肥満とその要因について分析し、肥満や生活習慣の見直しのヒントを見つける。

2. テーマ設定の動機

日本ではがんなどの生活習慣病の患者数が増加しており、全国的にも生活習慣の見直しが呼びかけられている。実際に、保健体育で生活習慣についての授業を受け、食事や運動の面など様々な要因があると知った。そこで人々の社会環境にまで目を向けて、肥満の要因を分析した。

b. 研究の方法と手順

本研究は、日本人の都道府県別の肥満度を調べ、その要因を社会面と生活面の2つの観点から分析した。それぞれの観点の中でも仮説とその関連性について調べた。

c. データセットの加工

本研究で使ったデータ名とその出典

データ名	年次	出典
都道府県別BMI分析	2019	RIZAPグループ株式会社
大学進学率ランキング	2020	がくたま大学情報・資料請求まとめサイト
SSDSE	2024	独立行政法人統計センター

2. データ分析の結果



1. データ分析の結果

(1) 社会について

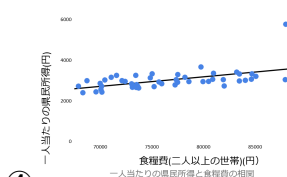
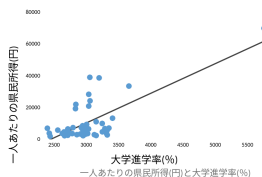
1. 一人あたりの県民所得の関係

2. 大学進学率の関係

3. 結婚率の関係

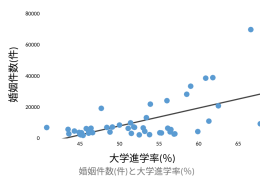
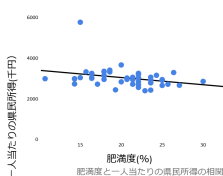
①

②

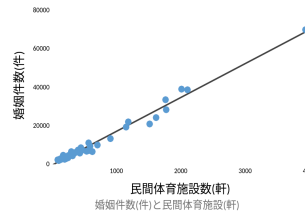


③

④



⑤



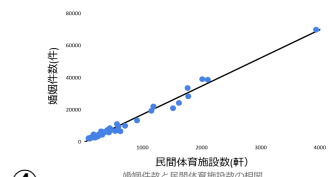
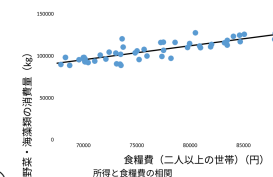
(2) 生活について

1. 食事の関係

2. 運動の関係

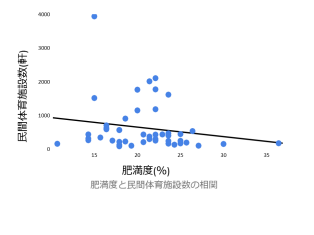
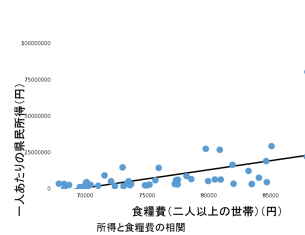
①

②



③

④



3. 結果の解釈

これらの分析結果より、肥満度は収入に大きく影響を受けている事がわかった。収入が多いほど、肥満度が低い。それにより、食費も多くなり、健康を意識することで野菜類の摂取量も増加することが分かった。また、収入が多いほど、大学進学率が高くなり、結婚率も高くなることが分かった。肥満度が低い地域ほど民間体育施設が多く、結婚率も高くなることが分かった。以上のことからまとめると、肥満度の低い人は収入が多く、それに伴って、野菜摂取量が多く、大学進学率、結婚率が高い。また、民間体育施設数が多い地域にいると結論づけることができる。

4. 今後の展望

今回の研究では都道府県別の肥満度の要因を分析し、現状の改善につながるヒントを得た。次の研究段階として、都道府県別の天候と肥満度の関係を調べたい。社会的要素と、自己の生活習慣の要素と、天候の要素を分析できれば肥満度が高い人を取り巻く環境を知ることができ、結果として肥満予防や改善策がより具体的になるだろう。

5. 参考文献

<https://www.nstac.go.jp/sys/files/sites/3/2023H5-shorei-01.pdf>

男女別学校数の推移とその理由

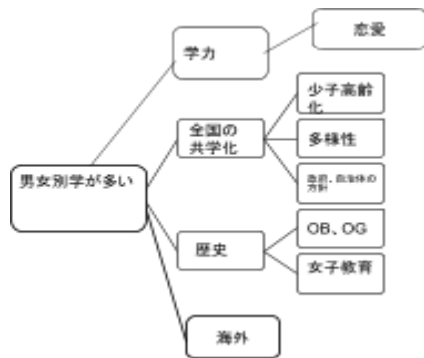
2組 3班 名前 児玉、清水、白戸、田島

1. 序論

a. 研究の動機・目的

共学化が進む中で群馬県などの北関東に女子校、男子校という男女別学の公立高校が多く存在していると知り、一つの地域にそのような高校が多く集まっている理由と、その理由との相関関係の究明を行うため。また、前女という女子校に通っている生徒として、男女別学であることの良さを自分たちの体感だけでなくデータして客観的に知ること、前橋女子高校の広報活動に活かすため。

b. 研究の方法と手順



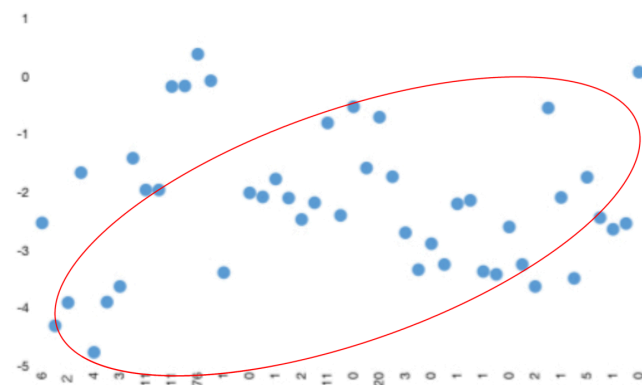
c. データセットの加工

本研究で使用したデータ名とその出典

データ名	年次	出典
年度別男女別学校数	令和5など	文部科学省
人口減少率と女子校の減少の相関	令和5	SSDSE-E

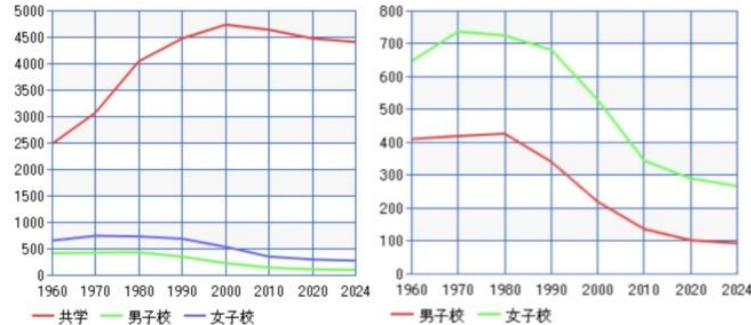
2. データ分析の結果

a. 人口減少率と女子校の数の相関係数



x軸を男女別学校の数(校)、y軸を各県の人口減少率(%)とする
相関係数は0.52で、中度の相関がある事がわかった。

b. 男子校、女子校と共学の学校数の推移



c. 歴史

明治時代に富岡製糸場で工女と呼ばれる女子学生が働くことになり、女子教育の必要性が高くなったため、女子学校ができた。これにより、今までの男子学校と女子学校の2つが生まれたと言われている。また、GHQは男女共学を原則としたが、男女別校が根強い地域にはGHQの担当者が配慮したと考えられている。実際に、栃木県の担当司令官は住民の意見に対応してくれる円満な人柄だったため、共学化しなかったと伝えられている。

d. 海外の研究

- 共学よりも男女別学教育を受けた生徒の方が学力は高い (2000年／オーストラリア／教育研究機関ACER、2002年／英国／国立教育調査財団)
- 男女の学力差を埋めつつ、それぞれの能力を伸ばすには男女別学の教育が最適である (2005年／英国／ケンブリッジ大学)
- 男女別学では性別の固定観念を打ち破りやすいが、共学はそれを強化しやすい (2003年／米国／バージニア大学)

3. 結果の解釈

前提として、少子高齢化のために共学化が進められているとわかった。その中で、関東圏に別学が多く残っている理由としては歴史的観点や新聞記事などから、政府の意向よりも地域性や当事者の意向が優先されている結果だとわかる。さらに別学であることで学力を伸ばすことができるともわかった。

4. 今後の展望

歴史を調べて、さらにテーマの「理由」という点を明確にしたい。また、共学化の原因についてはある程度わかってきたので、恋愛と学力の関係性について調べることで男女別学の良さを見つきたい。

5. 参考文献

朝日新聞

文部科学省

<https://www.spring-is.com/japan/feature/5563/>

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20231214/k10014277451000.html>

性と人種のポリコレの過激化

2組 4班 名前 平本歩実、細野翔愛、三木澄玲

1. 序論

※ポリティカル・コレクトネス:言葉や行動において差別的な表現を避け、すべての人々に平等な扱いを提供しようとする考え方。日本語では「政治的正しさ」といわれる。

a. 研究の動機・目的

最近海外国内問わずポリティカル・コレクトネス(以下ポリコレ)を気にかけすぎている作品が問題視されてきており、そこに至る過程でなにがあったのか気になった。

b. 研究の方法と手順



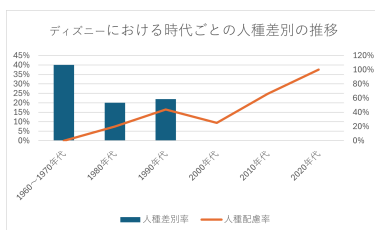
c. データセットの加工

本研究で使用したデータ名とその出典

データ名	年次	出典
Proportion of Americans Identifying as Lesbian, Gay, or Bisexual, 2008-2018	2019	2018 GSS Update on the U.S. LGB Population
同性愛許容度・欧米主要国・日本と旧ソ連諸国(＋アフリカ国)の推移	2022	world values survey

2. データ分析の結果

a. 人種差別について ポリコレの焦点を人種に当てる



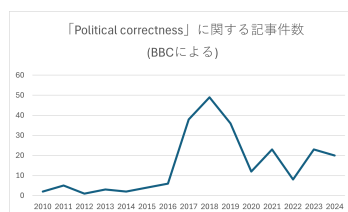
Disney長編アニメーションより

1995年には人種差別が断ち切れ、人種に配慮された作品が増えていった。2020年代ではほとんどの作品が配慮されている。

最初のポリコレ作品は2013年、最新の人種差別作品は1992年。

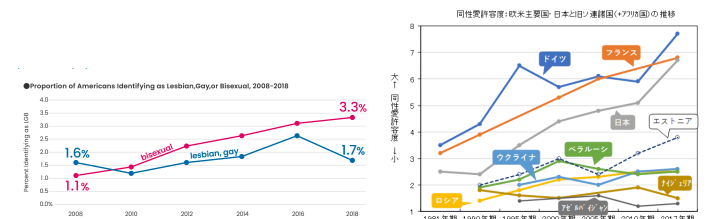
Disney実写作品では最初のポリコレ作品は2013年、最新の人種差別作品は1994年であり、アニメーション作品とほとんど変わりはない。

b. 用語について



2018~2020がピーク。2015~2016を皮切りに記事件数が大幅に増加していた。記事の内容は2016年、大統領選に当選したトランプ氏がポリコレアンチであると語ったというものが多かった。

c. lgbtの人口について lgbtについても焦点を当てる。ポリコレを訴える人は当事者が多いと仮定する



先進国では同性愛の許容度も人口も増えている。

3. 結果の解釈

a. 1994年4月南アフリカ史上初めて黒人を含む全人種が参加した制憲議会選挙及び州議会選挙が実施され、ネルソン・マンデラが当選し、全民族融和政策が行われたことで意識が変化していったと推察できる。2013年にMLB運動(人種差別抗議運動)が始まったことで人種差別に配慮する風潮が顕著となり作品にも反映されたと考えられる。

b. 2019年にブラジルのボルソナル大統領(親トランプ政権＝ポリコレアンチ)が大統領選で当選したことが記事件数に影響している。また、BBCでは2018年に合衆国選、UKIP(イギリス独立党)の党首が辞任したこともあり政治に対してポリコレという言葉が使われていることが多かったと読み取れる。

c. 当事者が増えたことから母数が増え、今まで届かなかった声が届くようになったと推測できる。また、各国からの同性愛の許容度も増えたためポリコレ、トランスジェンダーへの配慮の気持ちが生まれエスカレートしていったと考えられる。

a, b, cより、ポリコレはトランスジェンダーの増加や人種差別抗議運動などが行われたことで、人種差別、性差別の撤廃という風潮が強くなっていき、2016~2018にかけてトランプ氏の発言や親トランプ派が各国に広まった中でより広く認知されトランプ氏に反発するフェミニストやトランスジェンダーなどが発言力を強めていったことから両者が過激化していきそれに伴い作品にも少なからず影響を与えたと考えられる。

4. 今後の展望

なぜ同性愛者が増えたのか。→同性愛者という言葉が広まることで当てはまる、気づく人が出てきた。何かしらの原因で若い世代から生まれつきトランスジェンダーの人が増えてきている。

ディズニー以外の作品も調べる。

きっかけをより限定的にまとめる。

5. 参考文献

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%87%E3%82%A3%E3%82%BA%E3%83%8B%E3%83%BC%E4%BD%9C%E5%93%81%E3%81%AE%E4%B8%80%E8%A6%A7> ディズニー作品一覧
<https://www.bbc.com/> BBCニュース
https://www.nikkei.com/?_gl=1*728dd5*_gcl_au*MTIyNzUxNDE0Mi4xNzI3MzI2NDc0*_ga*MTQ0OTIwNDM3OC4xNzE5NDY3Nzg2*_ga_PXS8451SBG*MTcyNzMyNjQ3NC4yLjEuMTcyNzMyNjYwNC41NC4wLjA 日経電子版

いじめを減らすには

2組 5班 名前 森口榎玲音 矢嶋柚葉 山下紅

1. 序論

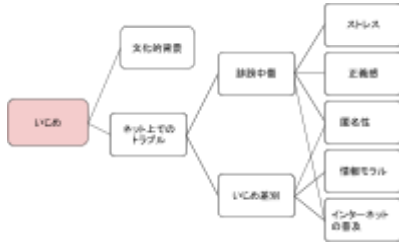
a. 研究の動機・目的

研究の目的: 情報化が進む現代社会において、インターネットの急速な普及やネットの匿名性に着目して研究を進め、ネットトラブルの改善のヒントを見つけることにある。

テーマ選択の背景: 近年、誹謗中傷やいじめなどのインターネット上のトラブルが大きな社会問題となっており、それらの主な原因となっているものが何か疑問に感じたため。

b. 研究の方法と手順

本研究では、いじめが増加傾向にある要因を文化的な背景、インターネットの普及、などの観点に基づいて分析した。



c. データセットの加工

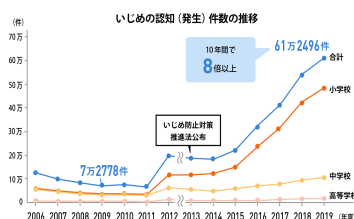
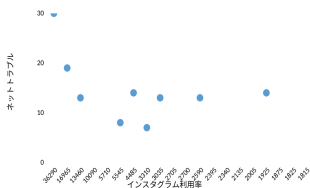
本研究で使用したデータ名とその出典

データ名	年次	出典
SNSの年代別利用率・利用率	2023	https://grove.tokyo/media/g0221/
SNSの性別・年齢別ユーザー数	2024	https://gaiax-socialmedialab.jp/socialmedia/435
		教育GPS - 学生の成果
不登校やいじめの数って?	2021	https://3keys.jp/issue/b01/
		https://www.softbank.jp/sbn/ews/entry/20211210_03

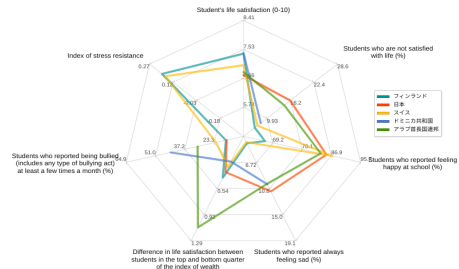
2. データ分析の結果

a. ネットいじめ・差別の原因について

- ①嫉妬や恨みのような子供のストレスが多い環境下で、その発散ための手段として使われる
- ②スマートフォンなどの急速なインターネットの普及
- ③自分の言葉の影響力に対する自覚がない
- ④X(旧ツイッター)、インスタグラム、フェイスブック、LINEなどの匿名性の高いアプリの登場



b. 学生の幸福度について(各国比較)



c. 世界各国の対策

- ★キヴァ→スイス フィンランド オランダ
- ★ポジティブ行動支援→アメリカ オーストラリア
- ★SNSの規制, 禁止→オーストラリア アメリカ フランス

d. いじめ防止、早期発見のために

- ★群馬県いじめ防止基本方針 一部抜粋)
- ◆未然防止～(2) いじめ問題を自分のこととして捉え、考え、自ら活動できる集団をつくる (4) スクールカウンセラー等の活用
- ◆早期発見～(2) 子供の行動を注視(exネットパトロール)
- ☆ネット上のいじめの防止
- 教職員を対象とした携帯・インターネット問題講習会”
- 児童生徒に対し情報モラル教育

3. 結果の解釈

これらの分析結果より、いじめの件数は匿名性の高いアプリの普及や学生の置かれている環境が関係していると分かった。いじめが増加の傾向にある日本の現状を改善するには、ネットの普及に伴い情報モラルの強化に関する取り組みを行うこと、日本の制度や政策をより充実させ幸福度を上げることが鍵となると考えられる。また、学生個人としても「いじめ」を自分事として捉えることで、環境改善を積極的に行う必要がある。

4. 今後の展望

今回の研究では、いじめや差別の要因について分析し、現状の改善に向けた糸口を見つけることができた。次の研究段階として日本と諸外国の文化背景も踏まえたうえで調査を続けたい。これによって、日本にあったよりよいいじめ防止、早期発見が期待できるだろう。

子どものネット依存者の増加の要因について

3組 1班 名前 新井和奏 今井柑那 川端里英 木村咲月

序論

a. 研究の動機・目的

私達はスマートフォンやパソコンを利用するなど日常の中でSNSと密接に関わっている。そのなかで、SNSがないと落ち着かない、と思ってしまうSNS依存に陥る子供の数が増加していると感じた。そこで私達は子どもにおけるSNS依存の実態と、依存の要因について調べることにした。

またSNS依存について明確な定義がなかったため、1日5時間以上のSNS利用がある人をSNS依存者とする。また子どもの年齢の定義は諸グラフより高校生以下であるとする。

b. 研究の方法と手順



c. データセットの加工

本研究で使用したデータ名とその出典

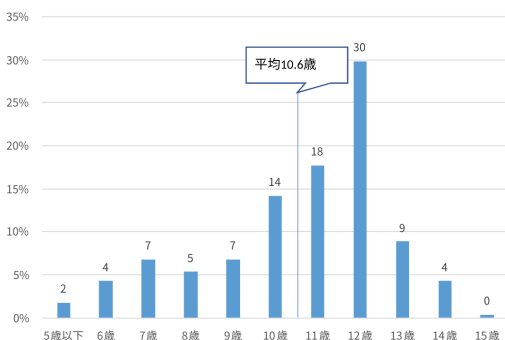
データ名	年次	出典
スマホ所有開始年齢	2023年度	NTTドコモ モバイル社会研究所 https://www.moba-ken.jp/project/children/kodomo20230227.html
スマホ・キッズ携帯所有率	2023年度	NTTドコモ モバイル社会研究所 https://www.moba-ken.jp/project/children/kodomo20240129.html
【小中学生】スマホを持たせた理由	2023年度	NTTドコモ モバイル社会研究所 https://www.moba-ken.jp/project/children/kodomo20240311.html
子どものお留守番は何歳から？	2024年度	https://www.seiban-sodasoda.com/episodes/detail/hotsoda-240229/

d. 仮説

子どものネット依存者数が増える要因には子どもの親の行動や状況によるものがあるのではないかと考えた。具体的には子どもにスマホを持たせる年齢が低かったり、親が家にいない時間が多いほど子どもがネット依存になりやすいのではないかと考えた。

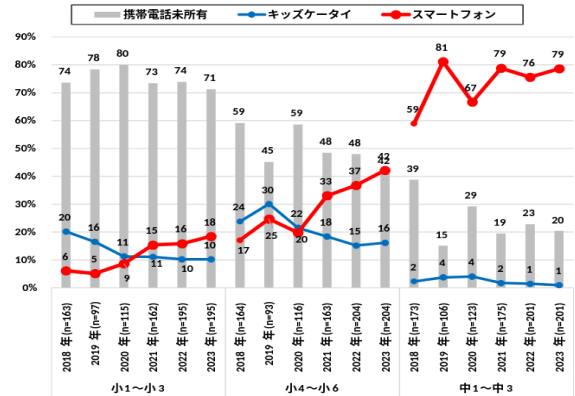
データ分析

図2. 【小中学生】スマホ所有開始年齢

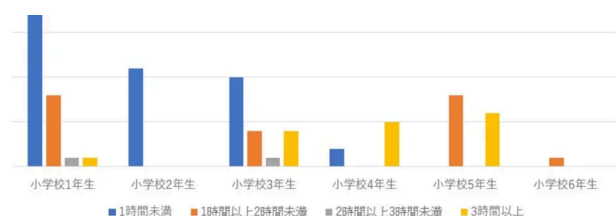
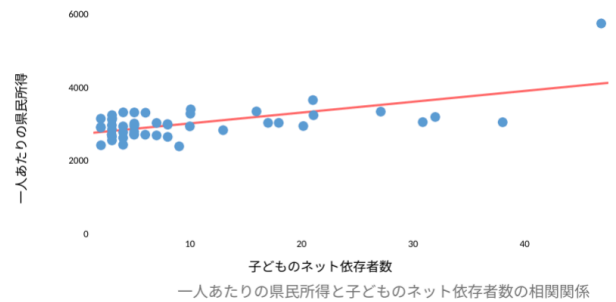


上図から、スマホ所有開始年齢は平均して10.6歳となっており、小学校低学年の年代で所持する割合が高い。

図1. 【小中学生】スマホ・キッズケータイ所有率（経年変化）



全体的にスマホの所持率は上昇している。小学生は携帯電話未所持率が高く、スマホ所持率の上昇に伴い、キッズ携帯の所持率は下降していることが見て取れる。



結果の解釈

上記の相関グラフより、子どものネット依存者数と一人あたりの県民所得には0.62の相関があることがわかった。所得が多い親は働く時間も増えることが日本労働政策研究・研修機構のデータよりわかっている。そうすると家に親がいない時間が増えるため、親は連絡手段も兼ねて子供にスマホを幼い頃から持たせること
<https://www.moba-ken.jp/project/children/kodomo20240311.html>が多いとモバイル社会研究所のデータよりわかる。このことからスマホ所持年齢が低くなり、ネット依存になる子供が増えるのではないかと考える。

今後の展望

今回の研究では、子どものネット依存者の増加について分析し、その要因について調べることができた。次の研究課題としては、その要因から実際に子どものネット依存を減らせるにはどうしたら良いのかを分析できれば、これから情報通信機器を用いた活動がより発達する未来において、ネット依存になる人を実際に減らすことができるだろう。

都市部の高校生は運動ができる

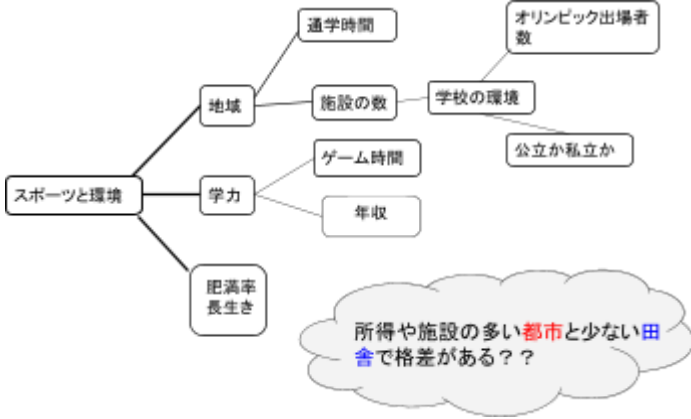
3組2班 名前 小池愛莉 小林若葉 小宮山楓 近藤育美

1.序論

a. 研究の動機・目的

全国大会で勝ち上がっているチームは都市部が多いと思ったから。オリンピックがあってスポーツにより興味をもったから。

b. 研究の方法と手順



c. データセットの加工

本研究で使用したデータ名とその出典

データ名	年次	出典
都市とスポーツ	2023	晃洋書房

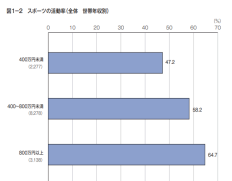
2. データ分析の結果

a. 4大スポーツ総合順位

これが最強県だ!		高校スポーツ優待	
4大スポーツ総合順位		男子サッカー	
順位	県別順位	順位	県別順位
1	東京 42.9	1	大阪 20.12
2	大阪 40.9	2	神奈川 13.7
3	愛知 39.6	3	千葉 15.9
4	福岡 39.2	4	愛知 8.5
5	埼玉 38.5	5	東京 9.9
6	神奈川 38.2	6	和歌山 7.6
7	神奈川 37.9	7	大阪 6.5
8	神奈川 37.6	8	高知 5.7
9	神奈川 37.3	9	兵庫 7.2
10	神奈川 37.0	10	徳島 5.6
11	神奈川 36.7	11	京都 4.6
12	神奈川 36.4	12	静岡 4.5
13	神奈川 36.1	13	福岡 4.4
14	神奈川 35.8	14	千葉 3.5
15	神奈川 35.5	15	神奈川 4.2
16	神奈川 35.2	16	山口 2.5
17	神奈川 34.9	17	神奈川 2.2
18	神奈川 34.6	18	神奈川 1.3
19	神奈川 34.3	19	神奈川 2.4
20	神奈川 34.0	20	神奈川 2.3
21	神奈川 33.7	21	神奈川 2.3
22	神奈川 33.4	22	神奈川 2.3
23	神奈川 33.1	23	神奈川 2.3
24	神奈川 32.8	24	神奈川 2.3
25	神奈川 32.5	25	神奈川 2.3

都市部のほうが部活動の成績がよいことが分かる。そのため、都市部のほうが設備が整っている、環境面でより質の高い練習ができるのではないかな。

(2) 年収の高い保護者の子どもは定期的に運動をしている



b. 年収と運動できる人

年収の高い保護者の子どもほど、水泳などの習い事をやっていることが多いため日頃から運動する習慣があると考えられる。

c. 年収の都道府県別ランキング

都道府県別ランキング	平均年収		
	全体	男性	女性
東京都	471万円	534万円	415万円
神奈川県	452万円	518万円	383万円
千葉県	435万円	496万円	367万円
埼玉県	426万円	484万円	360万円
茨城県	424万円	476万円	349万円

3. 結果の解釈

これらの分析結果より、運動の出来は地域と年収に影響を受けていることがわかった。日本の年収は都市部のほうが高く、また年収が高い家ほど定期的に運動していることが分かった。さらに部活動も都市部のほうがよい成績を残している。ゆえに年収が高い家庭のほうが、クラブ活動に通うことができる。そのため、運動をする習慣が付き、都市部の学生のほうが運動できる学生が多いと考える。

4. 今後の展望

今回の研究では、高校生の地域別の運動の出来について調べました。次の研究段階として勉強でも同じなのかを調べたいです。

5. 参考文献

少子高齢化の背景にある社会的要因

3組 3班 名前 21.佐久間奈乃佳 26.段杏奈 27.津久井瑠菜

1. 序論

a. 研究の動機・目的

少子高齢化が進む現代、この問題はメディアなどで多く取り上げられるが、その原因の詳細は述べられないことがほとんどである。そのため、本研究では日本の少子高齢化の原因について国内と世界の視点から分析し、相違点や改善点を見つける。

b. 研究の方法と手順



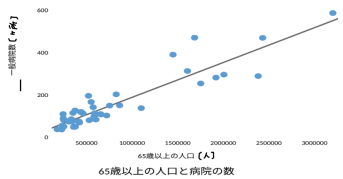
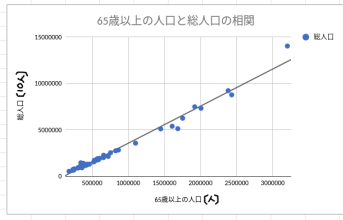
本研究は、日本の少子高齢化を日本と世界の様々な観点から問題を分析した。それらをもとに少子高齢化の要因を探る。

c. データセットの加工

本研究で使用したデータ名とその出典

データ名	年次	出典
65歳以上の人口と総人口の相関	2024	SSDSE-E-2024
65歳以上の人口と病院の数	2024	SSDSE-E-2024

2. データ分析の結果



a. 高齢化について

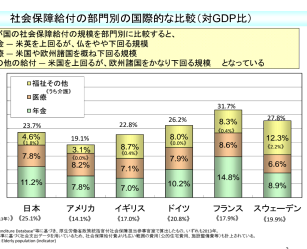
(1)日本の高齢化

相関関係が強い・外れ値が特にないことから、日本の全体で高齢化が進んでいることがわかる。・・・高齢化が進んでいない都道府県は（ほぼ）ない。⇒日本全体の問題

(2)医療との関係

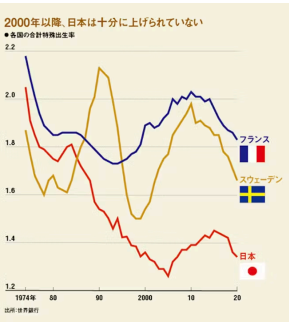
相関係数が0.92だったことより強い相関が見える。よって高齢化の背景には医療の発展という社会的要因があるといえるだろう。

主要国の医療保障制度の給付内容及び自己負担の概要				
国	ドイツ	フランス	イギリス	アメリカ
医療保障方式	国民皆保険（社会保険）	国民皆保険（社会保険）	国民皆保険（社会保険）	国民皆保険（社会保険）
給付内容	医療費の大部分をカバー（自己負担は限額）	医療費の大部分をカバー（自己負担は限額）	医療費の大部分をカバー（自己負担は限額）	医療費の大部分をカバー（自己負担は限額）
自己負担	自己負担は限額（自己負担上限額）	自己負担は限額（自己負担上限額）	自己負担は限額（自己負担上限額）	自己負担は限額（自己負担上限額）



日本に比べ高齢化率の低い欧米諸国ではこのような医療保障の違いが見られた。自己負担の割合についてはあまり差が見られない。社会保障給付費とは社会保障の分野において税金や社会保険料を財源とした費用であるが、GDPに対し医療の支出が欧米諸国を下回っていることがわかる。これは医療は発展しているが、国からの保障はあまり手厚くないということになる。

b. 少子化について



事項	日本	フランス	スウェーデン	イギリス	ドイツ
支給対象児童	第1子から 小学校の学年終了前	第1子から 16歳未満	第1子から 16歳未満 (学生は20歳の専学児童まで)	第1子から 16歳未満 (全日制教育を受けている場合は18歳未満)	第1子から 16歳未満 (学生は18歳未満)
児童月給	・第1子：なし ・第2子：約1.0万円 (1歳以上) ・第3子：約1.0万円 ・第4子：約1.0万円 ・第5子：約1.0万円	・第1子：なし ・第2子：約2.5万円 ・第3子：約2.5万円 ・第4子：約2.5万円 ・第5子：約2.5万円 ・第6子：約2.5万円 ・第7子：約2.5万円 ・第8子：約2.5万円 ・第9子：約2.5万円 ・第10子：約2.5万円 ・第11子：約2.5万円 ・第12子：約2.5万円 ・第13子：約2.5万円 ・第14子：約2.5万円 ・第15子：約2.5万円 ・第16子：約2.5万円 ・第17子：約2.5万円 ・第18子：約2.5万円 ・第19子：約2.5万円 ・第20子：約2.5万円 ・第21子：約2.5万円 ・第22子：約2.5万円 ・第23子：約2.5万円 ・第24子：約2.5万円 ・第25子：約2.5万円 ・第26子：約2.5万円 ・第27子：約2.5万円 ・第28子：約2.5万円 ・第29子：約2.5万円 ・第30子：約2.5万円 ・第31子：約2.5万円 ・第32子：約2.5万円 ・第33子：約2.5万円 ・第34子：約2.5万円 ・第35子：約2.5万円 ・第36子：約2.5万円 ・第37子：約2.5万円 ・第38子：約2.5万円 ・第39子：約2.5万円 ・第40子：約2.5万円 ・第41子：約2.5万円 ・第42子：約2.5万円 ・第43子：約2.5万円 ・第44子：約2.5万円 ・第45子：約2.5万円 ・第46子：約2.5万円 ・第47子：約2.5万円 ・第48子：約2.5万円 ・第49子：約2.5万円 ・第50子：約2.5万円 ・第51子：約2.5万円 ・第52子：約2.5万円 ・第53子：約2.5万円 ・第54子：約2.5万円 ・第55子：約2.5万円 ・第56子：約2.5万円 ・第57子：約2.5万円 ・第58子：約2.5万円 ・第59子：約2.5万円 ・第60子：約2.5万円 ・第61子：約2.5万円 ・第62子：約2.5万円 ・第63子：約2.5万円 ・第64子：約2.5万円 ・第65子：約2.5万円 ・第66子：約2.5万円 ・第67子：約2.5万円 ・第68子：約2.5万円 ・第69子：約2.5万円 ・第70子：約2.5万円 ・第71子：約2.5万円 ・第72子：約2.5万円 ・第73子：約2.5万円 ・第74子：約2.5万円 ・第75子：約2.5万円 ・第76子：約2.5万円 ・第77子：約2.5万円 ・第78子：約2.5万円 ・第79子：約2.5万円 ・第80子：約2.5万円 ・第81子：約2.5万円 ・第82子：約2.5万円 ・第83子：約2.5万円 ・第84子：約2.5万円 ・第85子：約2.5万円 ・第86子：約2.5万円 ・第87子：約2.5万円 ・第88子：約2.5万円 ・第89子：約2.5万円 ・第90子：約2.5万円 ・第91子：約2.5万円 ・第92子：約2.5万円 ・第93子：約2.5万円 ・第94子：約2.5万円 ・第95子：約2.5万円 ・第96子：約2.5万円 ・第97子：約2.5万円 ・第98子：約2.5万円 ・第99子：約2.5万円 ・第100子：約2.5万円	・第1子：約1.0万円 ・第2子：約1.0万円 ・第3子：約1.0万円 ・第4子：約1.0万円 ・第5子：約1.0万円	・第1子：約1.0万円 ・第2子：約1.0万円 ・第3子：約1.0万円 ・第4子：約1.0万円 ・第5子：約1.0万円	・第1子：約1.0万円 ・第2子：約1.0万円 ・第3子：約1.0万円 ・第4子：約1.0万円 ・第5子：約1.0万円
所得制限	あり	なし	なし	なし	原則なし
財源	公費と事業主拠出金	事業主拠出金と税等	国庫負担	事業主拠出金と税等	公費負担

資料：厚生労働省「海外労働者等に対する生活支援」等並びにフランスでは、第2子から第11子、第1子から第6歳未満までを対象とする「児童給付金」を月給として支給していることについては、国庫負担割合が2007年（平成19年）に100%となった。

・フランスでは生後2カ月から、子どもたちを保育所に通わせられ、利用料は所得に応じて決まる。3歳から義務教育が始まる。
⇒3歳から日中の長時間を学校に預けられるため、親の負担が大きく軽減されている。
・不妊治療に対する新たな支援は充実している。18年の保健省のデータでは、不妊治療を受けた件数は15万件、不妊治療を経て生まれた子どもは約2万5000人と、出生数全体の約3%である。21年には全女性が不妊治療の補助を受けられるようになり、同性カップルや独身女性も不妊治療の補助を受けられ、第三者から精子の提供を受けて子どもを持つ女性も珍しくない。また、多様な家族の形を認め、親の婚姻関係や性別とは関係なく、保育の補助を受けられる。
・スウェーデンもフランスと同様に国家の子育て支援が手厚い。特徴は出産後480日間の育児休暇が与えられる点。そのうち390日間は所得の8割が支給される。
⇒二国では子育てでの時間や金銭・社会面への心配が少ない。

3. 結果の解釈

【医療の視点】

・海外（フランスなど）では、子どもの誕生方法から、不妊治療に対する支援が合計出生率の上昇（少子化対策）につながっている。
・2aの(2)の相関図より高齢者が多いところに病院があるというより、人口の多いところに病院を作り、結果的にそのまわりの健康寿命や平均寿命が伸びたため現役世代が高齢者になって65歳以上の人口が増えたと考察する。

【経済・政策の視点】

・本来、国や自治体で行う支援が民間企業で行われているため、お金がなければ子育てや老後の生活が苦しい。さらに、円安や戦争の影響による物価高の最中でありながら労働者の給料は上がらないため子どもを育てる余裕がなく少子化につながる。
・奨学金返済を理由とする将来への不安から晩婚化へと繋がり、少子化の要因となる。

【時代・思想の視点】

・1985年に男女雇用機会均等法が成立
⇒女性の社会進出が進む一方で、子育て支援体制が十分でないことから、仕事との両立の難しさがあり、子育て等により仕事を離れる際に失われる所得が大きい。
★これらのことが子どもを産むという選択に影響をあたえる。

4. 今後の展望

今回の研究から、日本の少子高齢化の要因を海外や医療・歴史的背景として、日本では出産・子育て支援が他国に比べ不足しているため、若い世代の割合が減り医療の発達・女性の社会進出が重なり高齢化を進行させていると考察する。次の研究では、少子高齢化対策への評価や解決への糸口・具体案の作成などをしたい。

5. 参考文献

スマホ依存度と精神疾患患者数の関係

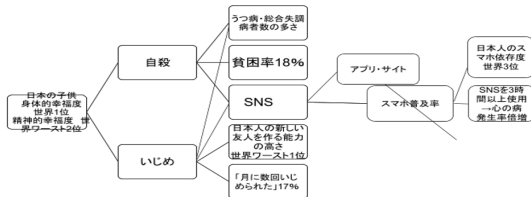
3組 4班 名前 庭野愛子 庭山夏芽 吉田心実

1. 序論

a. 研究の動機・目的

今、私たちの生活に欠かせないものとなっているスマホ。遠くにいる人と繋がることができたり、学習に使用できたりする一方で、SNS等に依存してしまう人も増加している。また、現代社会でも大きな問題となっている、うつ病をはじめとした、精神疾患にも着目した。この疾患は、昔から一定の患者数はいたものの、グローバル化の進捗とともに、その患者数は急増している。そこで、「スマホ依存症」と「精神疾患」の関係性を調べることにした。

b. 研究の方法と手順



c. データセットの加工

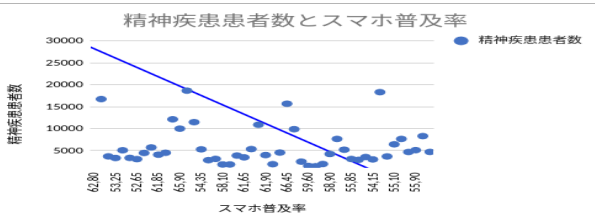
本研究で使用したデータ名とその出典

データ名	年次	出典
都道府県別スマートフォン普及率	2018	とどらん
第8次医療計画における精神病床に係る基準病床について	2023	厚生労働省

2. データ分析の結果

(1) スマホ普及率と精神疾患患者数の関係について

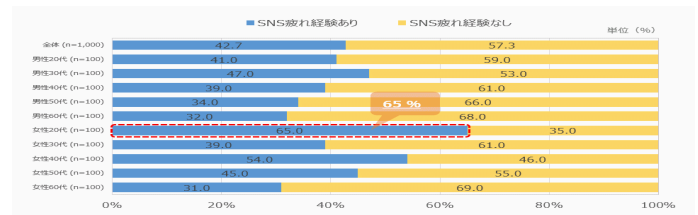
※精神疾患患者とは、精神疾患によって日常生活に支障をきたす人々のことである。今回は特に、入院している人たちに焦点を当てる。



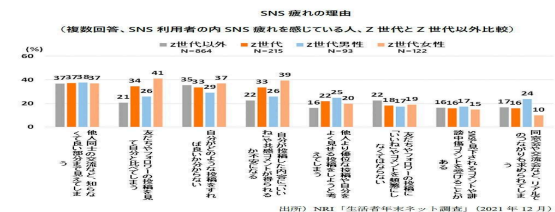
相関係数の検定				
相関係数	n	検定統計量	確率	判定
-0.94	47	18.317	0.0000	**

(2) 精神疾患患者について

上部のデータ分析により、スマホの使用が精神病発症のトリガーである可能性が証明された。また、さらに調べていく中で、近年SNSが原因で精神病を発症する人が増えているということもわかった。そこで、人々がSNS疲れを感じているかどうかを調べた。



これより、世代によって異なるものの、全体で見ると、男女ともに約半数がSNS疲れを感じたことがある、とわかる。また、若い世代の方が、その割合が高い。特に、20代女性は群を抜いて、その割合が高い。次に、SNS疲れを感じる原因を調べた。



この表からどの世代も理由は共通して、「他人の交流など、知らなくて良い部分まで見えてしまう」という意見が多かった。また、世代ごとに注視してみると、Z世代女子では、「友達やフォロワーの投稿を見て自分と比べてしまう」、「同窓会や交流会など、リアルでのつながりも求められてしまう」という理由も多かった。

3. 結果の解釈

以上の結果より、スマホの使用が精神疾患患者数に大きく影響していることがわかった。また、SNS疲れが特に原因であるとわかった。どの世代でもこれを感じる人が増えており、特に、精神病患者の多い若い女性でその傾向が顕著に見えた。よって、SNSが精神病発症の原因である、と言える。上手にSNSと向き合っていくことは、自分の心と体を守るために重要なことである。そのため、何が正しいか考え、行動と発言にも責任を持った上で、SNSに関わらなくてはならない。

4. 今後の展望

今回の研究で、精神疾患患者数とインターネットに着目し、現状の改善につなげる情報を得ることができた。今回の研究結果を踏まえて精神的幸福度に関係があるのか調べていきたい。この関係を分析することができれば、精神的幸福度を上げるためのヒントが見つかるかもしれない。

5. 参考文献

- CHIGAKO. "sns疲れを感じたことのある女性の割合は？". マイナビニュース. 2019
<https://news.mynavi.jp/article/20190404-801770/>
- 佐藤 雄二. "Z世代女性の6割超えが「SNS疲れ」、最も多い理由は？ Facebook利用率はわずか1%との調査結果も". All About ニュース. 2022
<https://news.allabout.co.jp/articles/o/37890/>

現在の教育状況～学習環境～

4組 1班 名前 大川結葵、上原杏心、及川美奈、久保田莉子

1. 序論

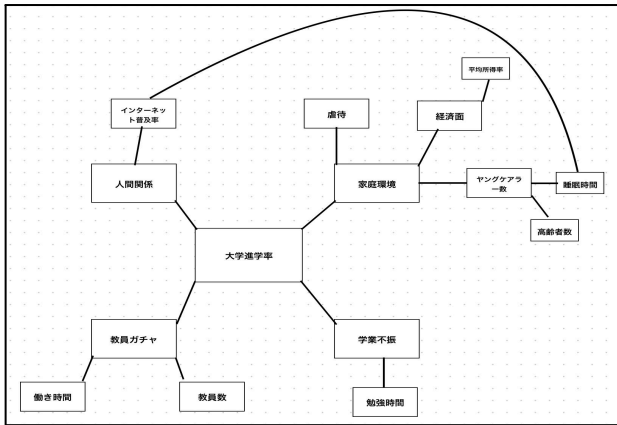
a. 研究の動機・目的

研究の目的:本研究は不登校者数の増加の原因を調べ、現状を知り、改善策を見つけることにある。

テーマ選択の背景:今回の研究テーマを設定した理由は、日本は少子化が進んでいるにもかかわらず不登校者数は増加しているという結果を耳にすることが多くなったことである。

b. 研究の方法と手順

本研究は、日本の不登校者及び、大学進学率の高さの要因をスマホ利用率、経済成長率、大学収容力指数、バイト率の4つの観点から分析した。仮説及びデータ分析の着眼点については、ロジックツリーにまとめた。



c. データセットの加工

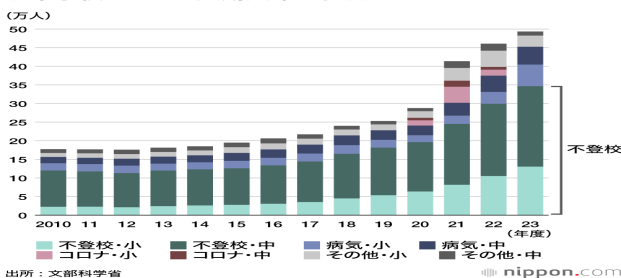
本研究で使用したデータ名とその出典

データ名	年次	出典
インターネットの利用状況	2019	https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r02/image/n5201060.png
オンラインゲーム利用率	2022	https://www.pref.toyama.jp/sections/1015/ecm/back/2009apr/tokushu/1-1.html

2. データ分析の結果

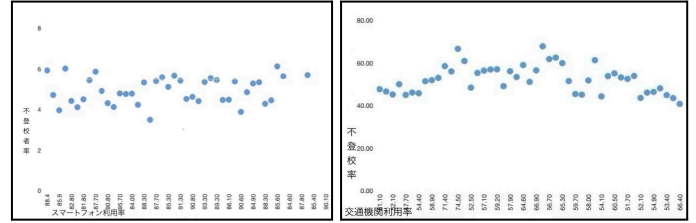
a. 日本国内の不登校者数の状況

小中学校における長期欠席の状況



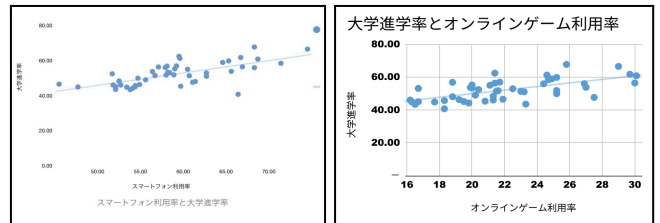
不登校者数は年々増加しており、2023年度は過去最高を記録していることが分かる。これを踏まえて、不登校者数増加の原因について調べた。

b. 日本の不登校者数の実態(経済、勉強など)



スマートフォン利用率と交通機関利用率はそれぞれ-0.04、0.07と相関係数が極めて低かった。不登校者率のデータ自体に問題があったと考え、学習面で関連があると思われる大学進学率に焦点を置いて分析を進めた。

c. 日本の大学進学率の実態



大学進学率とスマートフォン利用率・オンラインゲーム率はそれぞれ0.67、0.63と相関が見られた。これにより、インターネット環境と学習環境は関係があると考えられる。

3. 結果の解釈

これらの分析結果より、大学進学率はデバイス機器の利用者率に影響しているとわかる。言い換えれば、インターネット利用率が高いほど大学進学率が高くなる傾向がある。現代の授業ではインターネットを使う学習が普及しているため、そんな学習環境に対応しているほどよりレベルの高い学習ができる。また、インターネットで様々な情報を得て、将来への具体的なビジョンを立てることで勉強意欲が更に高まると考えられる。

4. 今後の展望

今回の研究では、不登校者数の増加の原因を分析し、現状の改善につながるヒントを得た。次の研究段階として正確性に欠ける数で研究をしていたため、最初から割合を用いて分析していればより正確なデータを得ることができただろう。また不登校の原因は一概に特定できるものではないため、複数のデータを踏まえて分析する必要もある。

5. 参考文献

[小・中学校の不登校が過去最多34万人—23年度文科省調査：学校生活にやる気が出ない32% | nippon.com](#)

離婚率の実態とその背景

4組 2班 名前: 桑山日南子・小島ほわ・小林さち・設楽美夏海

1. 序論

a. 研究の動機・目的

○研究の目的

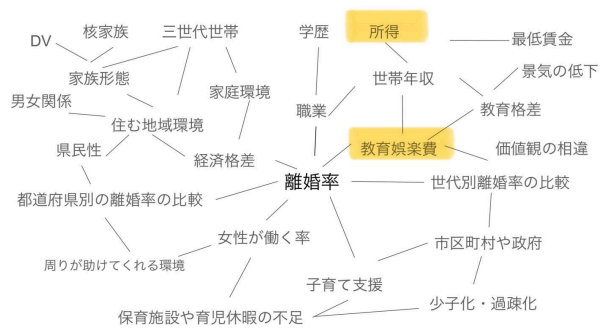
近年耳にすることが多い「1人親」や「片親」といった離婚問題について、都道府県別の離婚率を分析し、それらから分かる社会問題や改善方法について考える。

○テーマ選択の背景

結婚や出産をするなど、人生の選択をするようになったときのために、1人の女性として現段階において考えておくべきことだと感じた。

b. 研究の方法と手順

本研究は、日本の離婚率を都道府県別で比較して分析した。離婚率が高い県の上位を調べ、それらから仮説を立てて、どんな社会問題と関係があるのかをまとめた。



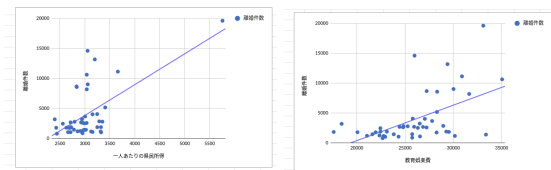
c. データセットの加工

本研究で使用したデータ名とその出典

データ名	年次	出典
県民所得(平成27年基準)	2019	独立行政法人統計センター SSDSE基本教材
離婚件数	2021	"
教育娯楽費	2022	"
47都道府県別県民所得	2018	一人当たりの県民所得
離婚率都道府県別ランキング	2022	独身者の出会い
教養娯楽費(二人以上の世帯)の都道府県別ランキング	2020~2022	政府統計の総合窓口(e-Stat)

2. データ分析の結果

日本国内



(右)一人当たりの県民所得と離婚件数 0.91

(左)教育娯楽費と離婚件数 0.54

①47都道府県別の一人当たりの県民所得と離婚率の関係

(■は離婚率1~10位 ■は離婚率38~47位)

1 沖縄県	2,870	1.3	3,096
2 東京都	2,870	2.0	3,407
3 大阪府	2,870	2.0	3,442
4 宮城県	2,870	2.4	3,449
5 福岡県	2,870	2.4	3,450
6 北海道	2,870	2.4	3,450
7 福島県	2,870	2.4	3,450
8 香川県	2,870	2.4	3,450
9 徳島県	2,870	2.4	3,450
10 鹿児島県	2,870	2.4	3,450

順位	都道府県	離婚率
1	沖縄	2.13
2	大阪	1.70
3	福岡	1.68
4	宮崎	1.68
5	北海道	1.65
6	香川	1.60
7	高知	1.59
8	鹿児島	1.58
9	和歌山	1.55
10	愛知	1.53

38 佐賀	1.31
39 長野	1.29
40 岩手	1.27
41 島根	1.25
42 山形	1.16
43 秋田	1.15
44 福井	1.15
45 石川	1.14
46 新潟	1.13
47 富山	1.08

トップ10県とワースト10県は離婚率と関連していて共通の県が複数入っている

②教育娯楽費と離婚率の関係(下記は教養娯楽費を表している)

1 埼玉県	35,050	+11.64%	+3,655	+1
2 石川県	33,376	+11.38%	+3,411	+1
3 東京都	33,099	+4.41%	+1,397	-2
4 兵庫県	31,637	+8.50%	+2,478	
5 愛知県	30,894	+15.13%	+4,059	+6
6 富山県	30,155	+7.25%	+2,038	-1
42 宮崎県	21,950	-1.74%	-388	-10
43 和歌山県	21,614	+16.55%	+3,069	+2
44 佐賀県	21,053	+10.56%	+2,010	
45 青森県	20,068	+5.11%	+976	-2
46 沖縄県	18,429	+7.51%	+1,288	+1
47 長崎県	17,601	-4.83%	-893	-1

出典:「政府統計の総合窓口(e-Stat)」

離婚率が高い県は県民所得が低く、かつ教育娯楽費が低い。一方で離婚率が低い県は県民所得が高く、かつ教育娯楽費が高い傾向にある。

3. 結果の解釈

これらの分析結果より、都道府県別の離婚率は所得と関係していることがわかった。最も離婚率が高い沖縄は低収入で教育娯楽費も低く、貧困に近い。一方、離婚率が最も低い富山は高収入で教育娯楽費も高い。また、他の県を見ると所得の高い県ほど離婚率が低く、所得の低い県ほど離婚率が高い。したがって、経済格差は離婚率に大きく影響していると考ええる。

4. 今後の展望

今回の研究では日本内での所得による地域格差、つまり経済格差が離婚率と大きく関係していることがわかった。この格差を生まないための対処法を具体的に調べてみると、
・非正規社員の雇用を安定させること
・政府が児童手当などの給付金制度を充実させること などがあった。
これを実行することができたら、経済格差の悪循環は起こらなくなるのではないかと。
今回は経済格差の問題と結びついていることがわかった。他の社会問題との関連性についても調べてみると共に、都市部と地方部の人口減少や産業の衰退なども詳しく調べてみたい。

参考文献

<https://search.app/ksMt55uHDadt1DUj7>
<https://search.app/GRMo1W78SLZDxssLA>

日本のキャッシュレス普及が低い原因を探る

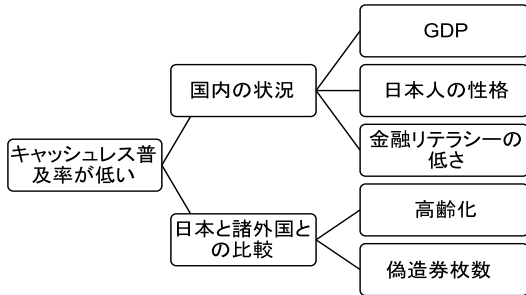
4組 3班 名前 城田実来 滝澤舞子 田村桃

1. 序論

A. 研究の動機・目的

ニュースで日本のキャッシュレス普及率が低い問題が取り上げられていて、その原因を調べてみたいと思った。外国と比べて日本のキャッシュレス普及率が低い理由には様々な背景があると思い、多様な視点から原因を探ることを目的に調査した。

研究の方法と手順

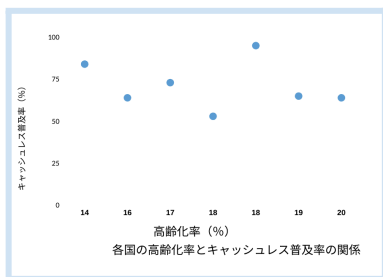


B. データセットの加工

データ名	年次	出典
世界主要国におけるキャッシュレス決済比率	2021	キャッシュレスロードマップ
独立行政法人国立印刷所の概要	2007	総務省
2023年 65歳以上人口比率（高齢化率）	2024	GLOBAL NOTE
世界主要国におけるキャッシュレス決済比率	2022	一般社団法人キャッシュレス推進協議会

1. データ分析の結果

a. 高齢化との関係について



相関係数は-0.35、信頼性はn.s.と、キャッシュレス普及率と高齢化率には、あまり関係がないことがわかった。また、デジコが発表した、キャッシュレス決済とインターネットの利用状況の調査の結果では、満60歳以上の73.3%が調査から直近

一ヶ月以内にキャッシュレス決済を利用しているという結果が出た。

これらのことから、日本の高齢化率が高いことは、キャッシュレス普及率が低いことの要因ではないことがわかった。

b. 性格との関係について

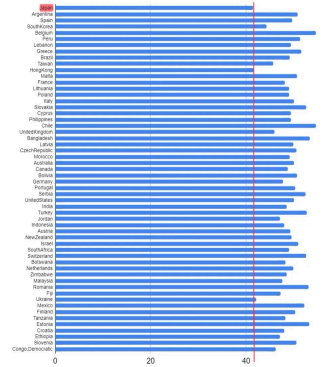
奈良先端科学技術大学院大学の[来日前情報日本人・日本文化とは]の記事から、日本人の特徴として、

- ・統一性（皆と同じ）を好む
- ・目立つのを嫌がる

があげられることが読み取れる。

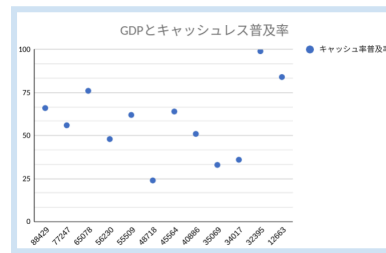
また、ビッグファイブという性格特性を5つの次元で表す理論を参考に日本人の性格について考えた。

開放性という新しいアイデアや行為への親和性のグラフを見ると日本は香港とほぼ同じ値で最下位であった。



よって日本人は新しいアイデアや行為、ここでいうキャッシュレス化に消極的であると言える。

c. GDPとの関係について



横軸：各国の一人当たりのGDP (US \$)
縦軸：世界主要国におけるキャッシュレス決済比率

2つのデータの関係は非常に弱く、この結論には信頼性が乏しいことがわかった。ゆえに、GDPと

キャッシュレス普及率に相関関係があるとは考えにくい。

2. 結果の解釈

分析結果より日本のキャッシュレス普及率の低さは日本人の国民性に関係することが分かった。日本は諸外国と比較しても新しいアイデアや行為への親和性が低く、消極的であるという国民性が見られた。キャッシュレス普及率が国際的に低いという現状を改善するためには、新しいアイデアに積極的になる事や政府が義務化などの政策を打ち立て国全体で取り組むことが重要である。

3. 今後の展望

今回の研究を通じて、日本のキャッシュレス普及率が低い要因について分析し、現状改善のために必要なことに関するヒントを得た。しかし今回要因の一つとして挙げられていた「災害」「偽造券枚数の少なさによる現金信頼度」についてはデータ収集の困難さから断念してしまったので次の研究段階で調べたい。また「金融リテラシー」についても調べたが相関は低く、結果の解釈に繋げることができなかった。また、予想と異なる相関関係が出たものに関しても相関係数が低くなった理由などを詳しく分析したい。予想と乖離した原因を分析することでキャッシュレス化に必要なものが分かり、日本のキャッシュレス普及率の上昇につながるのではないだろうか。

4. 参考文献

- ・一般行財団法人港湾空港総合技術センター 「SCOPE技術者からのメッセージ」 9
- ・ACHIEVEMENT HR SOLUTIONS 「ビッグファイブとは？」

夫にも家事をしてほしい。

4組 4班 名前 塚越あかり、宮田祥帆、柳澤美音

1. 序論

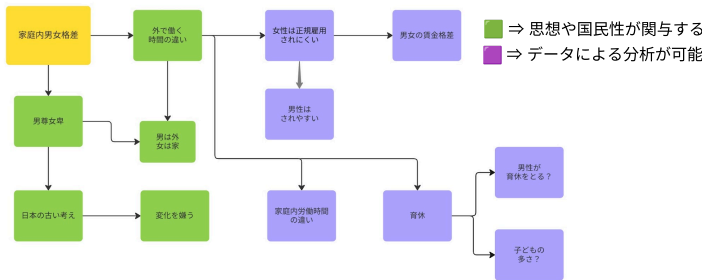
※本研究では、家庭内業務時間を、家事・育児時間と定義づける。

a. 研究の動機・目的

動機：メンバーの家庭において、母の家事の時間が父に比べて圧倒的に長く、日本でもよく見られると感じた。そのため、海外と比較するなどして理由を知りたいと考えたから。
目的：上記のことについて調べ、改善策を考える。

b. 研究の方法と手順

本研究は、日本の家庭内業務時間における男女差の要因を、家庭外での労働時間、男尊女卑の観点から分析した。そこから2つの仮説を立てて分析し、それらをもとに課題について検討した。仮説及びデータの分析の着眼点についてはロジックツリーでまとめた。



今回の探求のテーマは〈家庭内の男女差〉

⇒ 家事・育児における家庭内の男女差の原因を探っていく。

【仮説①】

女性の非正規雇用率が高いと、家庭内業務時間の男女差が大きくなる。

【仮説②】

男性が育休を取ると、家庭内業務時間の男女差が小さくなる。

c. データセットの加工

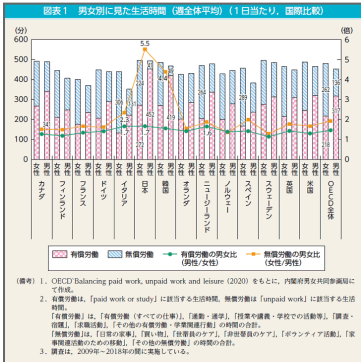
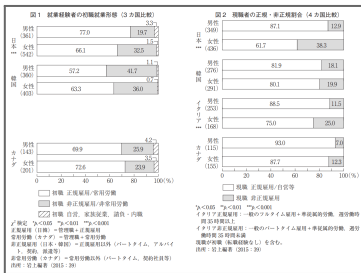
本研究で使ったデータ名とその出典

データ名	年次	出典
男女別に見た生活時間	2021	男女共同参画局
現職者の正規・非正規割合	2021	男女共同参画局
育休取得率の推移	2024	自民党
共働きか否か別・生活時間	2024	YAHOO! JAPAN ニュース
生活時間の国際比較	2021	男女共同参画局

2. データ分析の結果

a. 【仮説①】

女性の非正規雇用率が高いと、家庭内業務時間の男女差が大きくなる。

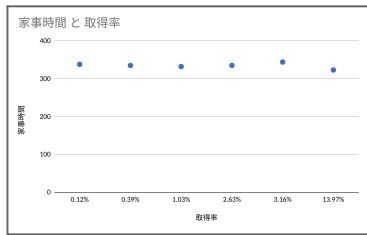
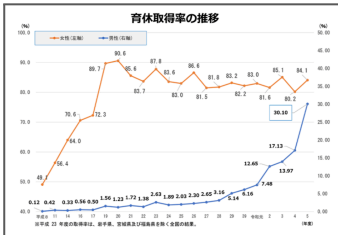
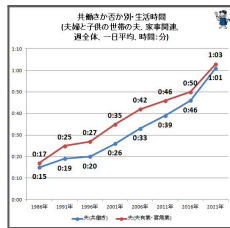
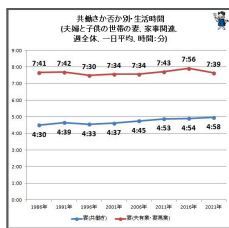


	イタリア	日本	韓国	カナダ
女性の非正規雇用率	高い	高い	低い	低い
家庭内業務時間の男女差	小さい	大きい	大きい	小さい

グラフからイタリアは非正規雇用率が高いのに家庭内業務時間の男女差が小さい。また、韓国は非正規雇用率が低いのに家庭内業務時間の男女差が大きい。これは仮説に反している。しかし、日本やカナダは仮説に準じている。

b. 【仮説②】

男性が育休を取ると、家庭内業務時間の男女差が小さくなる。

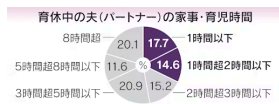


家事時間と育休取得率の相関を調べたが、相関はなかった。

3. 結果の解釈

【仮説①】 イタリアや韓国の反例から、一概に非正規雇用率が高いと家庭内業務時間の男女差が大きくなるとは言えない。また、仮説①で使ったグラフは内閣府が発表したもので信頼性は高いと考えられるが、「非正規雇用率」は一国の間でもその定義が定まっていないケースが多く、日本と韓国の場合も複数の定義が存在するようだ。このことも仮説が立証できなかった原因ではないかと考えられる。

【仮説②】 相関がないということで調べた結果、約半分の育休中の男性が3時間以下ほどしか家事をしていない事がわかった。故に仮説が立証されないのは育休中の男性の家事・育児への参加が少ないからという可能性がある。



4. 今後の展望

今回の研究で、日本の家庭内業務時間の男女差が大きい理由を仮説①で、改善策を仮説②で考えてきたが、どちらも仮説が立証されず、目的を達成することができなかった。そのため、賃金の差などより資料が多いものに着眼点を変えるなどして考え直したい。また今回、思想や国民性が関係する可能性は考えなかったが、そこについても考えてみることでこの課題を解決していきたい。

5. 参考文献

<https://www.jimin.jp/news/information/208944.html>
https://www.gender.go.jp/about_danio/whitepaper/r02/zentai/html/column/c1m_01.html
https://www.huffingtonpost.jp/nissei-kisokenkyuijyo/temporary-work_b_11190746.html
<https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/3ac6af18fd891e7edeb5eb85d3efb45a8d50292>
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOLM160XE0W3A110C200000/>

失業は人生に何をもたらすのか

5組 1班 名前 相澤瞳、市川ひかり、大澤由依

1. 序論

a. 研究の動機・目的

本研究を始めた理由は、近年の日本は不景気にあり失業者が増えているとニュースを通して知ったからである。調査をしてみると、2025年には日本の失業者率が5%になると労働政策研究・研修機構が発表していることがわかった。そのため、日本での失業がもたらす問題について調査することにした。本研究の目的は日本における、失業が引き起こす問題とその課題について分析し、改善に向けた取り組みの手掛かりを探ることにある。

b. 研究の方法と手順

本研究は失業が引き起こす問題を、収入、精神状態の変化の2つの観点から分析した。また、それぞれの観点から複数の仮説を立て分析し、それらをもとに問題の課題とその改善のヒントについて検討した。仮説、及びデータ分析の着眼点は、以下のロジックツリーでまとめたとおりである。



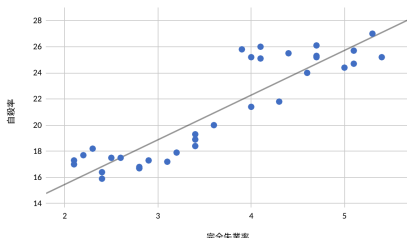
c. データセットの加工

本研究で使ったデータ名とその出典

データ名	年次	出典
完全失業率、有効求人倍率	1948-2023	総務省
日本自殺者数推移	1984-2023	全国労働衛生団体連合会
日本離婚率推移	1950-2020	厚労省
日本人口推移	1984-2023	e-stat

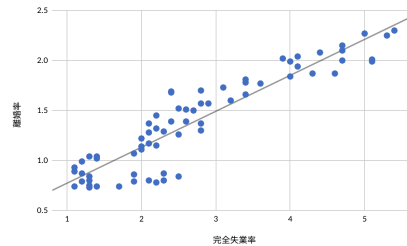
2. データ分析の結果

a. 完全失業率と自殺率



完全失業率と自殺率について調査したところ、0.91といった強い相関関係が見られた。理由として失業によって精神をやんでしまった、または収入がなくなり生活が苦しくなって、自殺に追い込まれてしまったと考えられる。

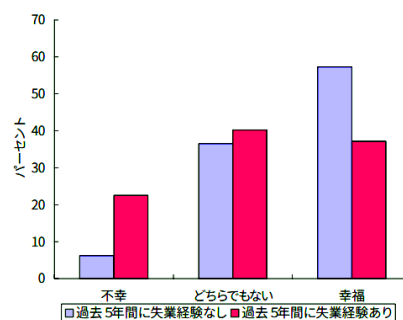
b. 完全失業率と離婚率



完全失業率と離婚率には0.92ととても強い相関関係があるとわかった。収入を失ったことにより、生活を共にすることが困難になったことなどが理由として考えられる。

c. 完全失業率と幸福度

図1 失業経験と幸福度



出所: 大竹 福岡(2002)より筆者が作成

これは大阪大学の大竹文雄氏による失業経験と幸福度に関するアンケートの結果である。ここから、失業を経験した人はしていない人に比べて幸福度が低いことがうかがえる。

3. 結果の解釈

これらの分析結果より、失業率と自殺率、離婚率、幸福度は強く影響し合っていることがわかった。失業が自殺や離婚、幸福度の低下に大きな影響をもたらすという現状を改善するには、企業等の雇用態勢や給料などを労働者視点で変えていくことが必要であるだろう。近年、大手企業の初任給引き上げが話題になっているため、これによる失業率の低下が期待できる。

4. 今後の展望

今回の研究では、失業率とそれが引き起こす悪影響について相関を分析し、現状の改善につながるヒントを得た。次の研究段階として失業率と労働環境との関係を調べたい。失業率と労働環境との関係を分析できれば、失業者を減らすための効果的な対策を講じることができ、結果として失業率を低下させ、自殺や離婚を減らし、幸福度をあげることができるだろう。

5. 参考文献

「失業がもたらす痛み」大阪大学 大竹文雄
<https://www2.econ.osaka-u.ac.jp/~ohtake/ippan/situgvoitami.pdf>

日本人の睡眠時間の短さの原因

5組 2班 名前 佐藤 佳奈恵 塩野 七海 品山 真輝

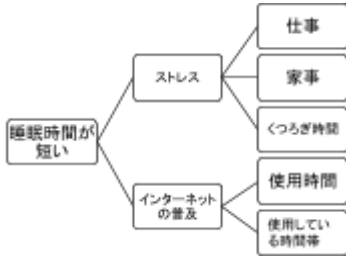
1. 序論

a. 研究の動機・目的

日本は経済協力開発機構(OECD)の先進国を中心とした世界33カ国のうち、最も短い睡眠時間で平均7時間22分だということを知り、今回の研究を通して、日本の睡眠における関係と原因、課題を提示し、広め、課題解決につなげていきたいと考えたため。

b. 研究の方法と手順

仮説およびデータ分析の着眼点はロジックツリーでまとめた。



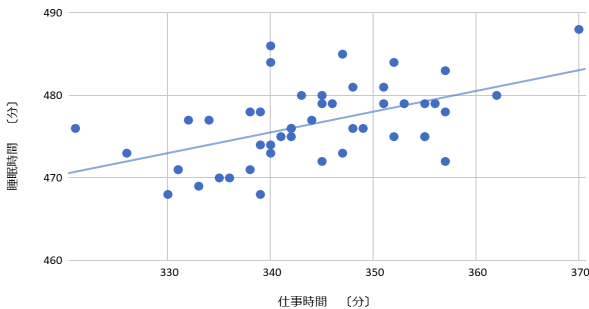
c. データセットの加工

本研究で使ったデータ名とその出典

データ名	年次	出典
平均睡眠時間[分]	2021	独立行政法人 統計センター SSDSE-社会生活
平均仕事時間[分]	2021	独立行政法人 統計センター SSDSE-社会生活
インターネット利用者の割合[%]	2019	財務省 通信利用動向調査
趣味・娯楽[%]	2021	独立行政法人 統計センター SSDSE-社会生活

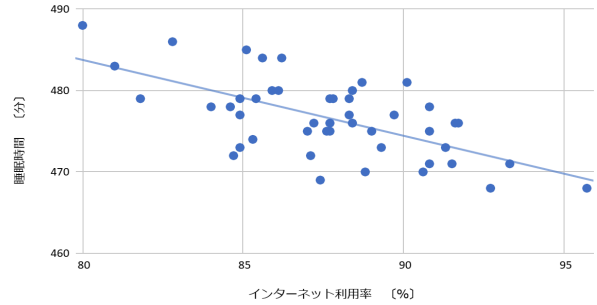
2. データ分析の結果

a. 睡眠時間と仕事時間の関係



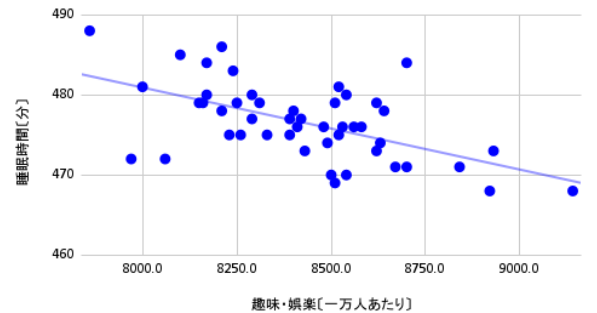
都道府県別の一日当たりの平均睡眠時間と平均仕事時間の相関には、0.52というやや強い正の相関がみられた。したがって、仕事時間が長くなると睡眠時間が長くなる傾向があるといえる。

b. 睡眠時間とインターネット利用率の関係



都道府県別の一日当たりの平均睡眠時間と都道府県別インターネット利用率の相関には、-0.64というやや強い負の相関がみられた。したがって、インターネットの利用が多いと睡眠時間が短くなる傾向があるといえる。

c. 睡眠時間と趣味・娯楽の関係



都道府県別の一日当たりの平均睡眠時間と都道府県別の趣味・娯楽を行う人の人数の割合の相関には、-0.56というやや強い負の相関がみられた。したがって、趣味や娯楽を行う人が多いと睡眠時間が短くなる傾向があるといえる。

3. 結果の解釈

これまでの分析結果から、睡眠時間が短い原因は、スマホなどを使う時間や、趣味や娯楽を行う時間が長いことが考えられる。睡眠時間と仕事時間の相関が正の相関になったのは、仕事が長引くほど疲れがたまり、就寝時間が早まるからだと考えられる。

4. 今後の展望

今回は睡眠時間が短い原因を日本の要因を中心に調べたが、今回の研究の目的は世界と比較して睡眠時間が短い原因を探ることであるため、今後は世界の労働時間などとも比較して調べたい。

5. 参考文献

ウェルネス総研レポートonline：睡眠バランス研究PROJECT
https://wellnesslab-report.jp/pj/sleep/sleep_issues.html

寿命を長くするために

5組4班 庭山藍沙 萩原花音 濱名優里 松井環希

1. 序論

a. 研究の動機・目的

医療技術の発展や、医療制度の整備、健康的な食文化など、様々な要因により、私たち日本人は世界トップレベルの長寿民族となった。しかし、その環境に甘えてはいけない。より長生きするためにはどうしたら良いのか、自ら模索していくべきなのである。そこで、今回は「趣味」のカテゴリに焦点を絞り、平均寿命との関係を調べることにした。この研究により、長生きするための新たな秘訣が発見されることを願う。

b. 研究の方法と手順

- 1:「都道府県別に見た平均余命」には男女それぞれの平均寿命しが掲載されていないため、それらの平均をとる
- 2:1でとった平均寿命のデータとの相関をSSDSE-Dの趣味のデータ全てと照らし合わせ、相関係数が高い順に並べる
- 3:ランキング上位のデータと寿命の関係性について調べる

c. データセットの加工

本研究で使ったデータ名とその出典

データ名	年次	出典
都道府県別に見た平均余命	令和2	厚生労働省
社会生活(SSDSE-D)	令和3	SSDSE

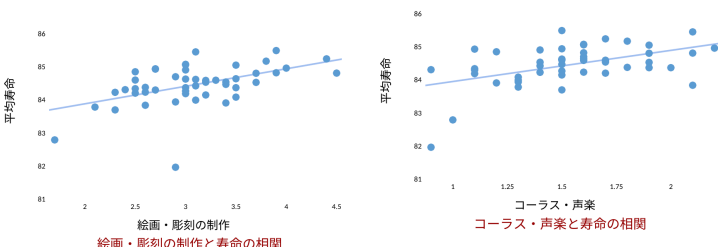
2. データ分析の結果

a. 趣味と寿命の相関ランキング

趣味・娯楽		相関係数	判定
1 絵画・彫刻の制作	平均寿命	0.50	**
2 コーラス・声楽	平均寿命	0.49	**
3 楽器の演奏	平均寿命	0.44	**
4 趣味としての料理・菓子作り	平均寿命	0.43	**
5 登山	平均寿命	0.41	**
...			
14 パチンコ	平均寿命	-0.31	*

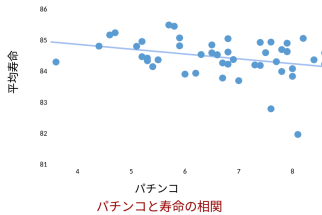
上位を見ると、芸術に関連したものが多くなっている。よって、芸術と平均寿命の関係について調べた。

b. 芸術と平均寿命の関係



前に示した2つのグラフから、絵画・彫刻の制作と平均寿命、コーラス・声楽と平均寿命はどちらにもゆるやかな正の相関があると読み取れる。よって、それらに取り組む時間が長ければ長いほど平均寿命が長くなっている傾向があることが分かった。

c. ギャンブルと平均寿命の関係



上に示したグラフより、パチンコと寿命にはゆるやかな負の相関があると読み取れる。よって、それに取り組む時間が長ければ長いほど平均寿命が短くなっている傾向があることが分かった。

3. 結果の解釈

以上のことから、芸術に触れることで平均寿命が長くなっていると言えるだろう。

実際、「アート脳」という著書には「劇場や美術館を訪れるなど、数カ月ごとにアートに触れる人々は、そのような習慣がない人々と比べて早世するリスクが31%も低い。生活にアートを取り入れる機会が年に1、2回だとしても、死亡リスクは14%下がる」(p187より引用)との記述がある。

また、パチンコなどのギャンブルは平均寿命を短くしていると言えるだろう。もしくは、パチンコなどのギャンブルを嗜むような人には、借金を抱えていたり、家庭環境が悪かったりする人が多い傾向がある、すなわち健康的な生活を送れていないがために、寿命が短くなってしまうという場合も考えられる。原因と結果が逆なのである。実際、大阪府の「ギャンブル等と健康に関する調査」より、「ギャンブル等、依存が疑われる者について、重度の鬱、不安障害の疑い、希死念慮、喫煙などとの関連性が認められた」との記述もある。

4. 今後の展望

次回以降は今回の調査の中で見られたパチンコと平均寿命に負の相関から発展させて、他の平均寿命と負の相関があるデータの有無やどうしてそこに負の相関が生まれるのかについても調べていく。今回の調査には「どうすれば長生きできるのか」という視点で取り組んだため、負の相関を調べることにより「早死しないようにするには」というアプローチでも長生きについて調査していきたいと感じた。

5. 参考文献

アート脳/スーザン・マグサメン、アイビー・ロス/PHP研究所

学力を決定づける事柄とは

6組 1班 名前 青木香菜子 石脇なつめ 生方晶子 奥野亜美

序論

(1) 研究の動機・目的

本研究は、SNSによる家庭内のコミュニケーションへの影響を明らかにすることを目標としてスタートしたが、家庭によって状況が異なるために、一概に結論を述べるのが困難であると考え、テーマを切り替えた。新たなテーマは「学力を決定づける事柄とは」とし、都道府県別の様々なデータを各都道府県の中学生の学力偏差値と照らし合わせ、相関をみていくこととした。

(2) 研究の方法と手順

学力と関係のある様々なデータにおける47都道府県ごとの数値を基に、学力(全国偏差値)との相関を調べ、相関を示すグラフを作成する。

a.のグラフでは年齢による学力を比べ、b.c.のグラフでは家庭環境と学力の関係を調べる。d.では、県全体の学力を上げるために塾は必要なのかを調べるために、通塾率との関係を調べることとする。

(3) データセットの加工

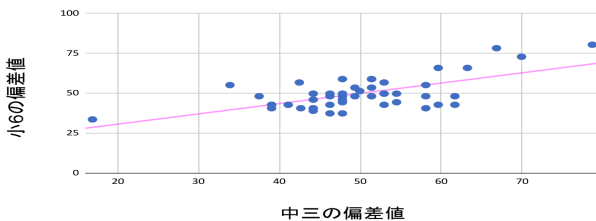
本研究で使ったデータ名とその出典

データ名	年次	出典
全国学力・学習状況調査	2022	令和4年度 全国学力・学習状況調査 報告書・調査結果資料・国立教育政策研究所 National Institute for Educational Policy Research
子育て世帯の相対的貧困率	2018	統計局ホームページ/令和5年住宅・土地統計調査
離婚件数	2017	都道府県別離婚件数
通塾率	2017	全国的な学力調査(全国学力・学習状況調査等)・文部科学省

データ分析の結果

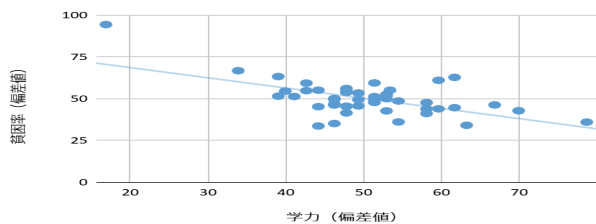
a. 小学校6年生と中学校3年生の学力

全国学力・学習状況調査 2022



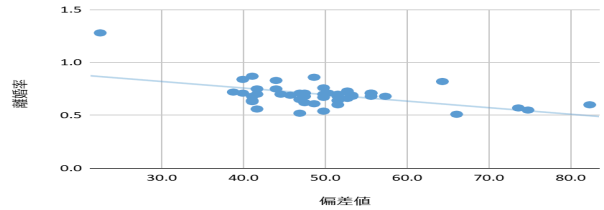
b. 貧困率と学力

貧困率と学力



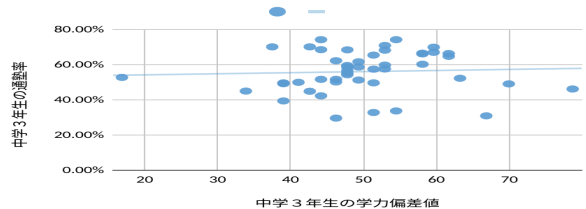
c. 離婚率と学力

離婚率と偏差値



d. 通塾率と学力

学力偏差値と通塾率



結果の解釈

・aのグラフの相関係数は0.64だった。

→小6で学力の高かった人は中3でも学力が高い。

⇒今回各データの比較の対象とした各都道府県の学力偏差値には信頼性があるだろう。

・bのグラフの相関係数は-0.6だった。

→家庭が裕福であるほど偏差値が高く、貧困であるほど偏差値が低いことが読み取れる。

⇒学習環境が整っているほど、学力が高いといえるだろう。

・cのグラフの相関係数は-0.52だった。

→離婚率が低い地域ほど学力が高く、高い地域ほど学力が低い。

⇒家庭環境が整っているほど学力が高いといえるだろう。

・dのグラフの相関係数は0.06であり、学力と通塾率には相関関係はみられないことがわかった。

※今回使用した学力偏差値は中学生のデータのため、高校生における通塾率と学力の相関は不確かである。

今後の展望

今回は学力と照らし合わせた項目数が少なかったため、得られた情報には限りがあったが、身近な項目における47都道府県のデータと学力の相関を明らかにし、考察することができた点ではとてもよかったと思う。今後は、当初の目標であったSNSに関する探求を行ってきたい。

参考文献

<https://www.nier.go.jp/22chousakekkahoukoku/index.html>
<https://www.stat.go.jp/data/jyutaku/>
<https://todo-ran.com/t/kiii/14268>
<https://www.nier.go.jp/15chousa/15chousa.htm>

"魚離れ"とその要因

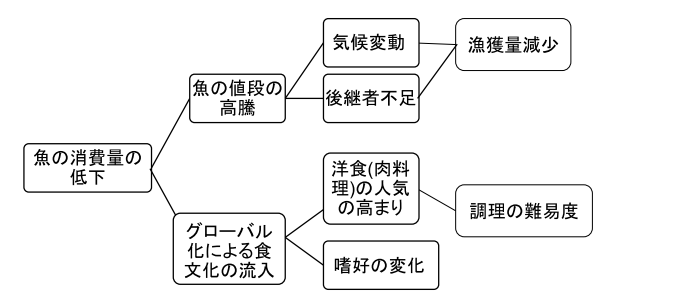
6組 2班 名前 恩田実怜 金井琴音 狩野一花 神尾明日葉

1. 序論

a. 研究の動機・目的

日本の伝統的な食文化である「和食」が、2013年にユネスコ無形文化遺産に登録された。それに対して、和食文化と切っても切れない関係である魚の消費量は衰退していると耳にした。そこで「魚の消費量低下」の原因を探ることを目標として、様々なデータを用い、統計的に解析していく。

b. 研究の方法と手順



特に大きいと考えられる「魚の値段の高騰」「グローバル化による食文化の流入」の2つの要因に焦点を当てて、魚の消費量の低下について分析していく。

c. データセットの加工

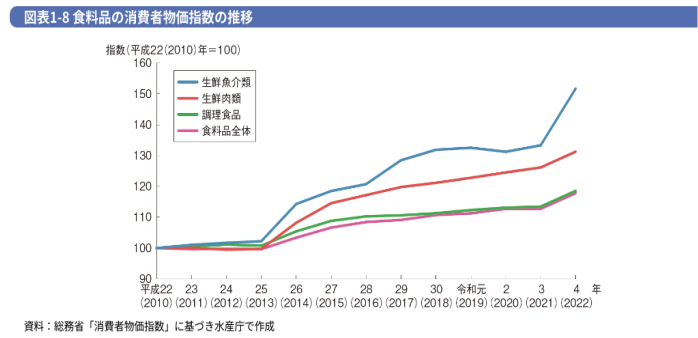
本研究で使用したデータ名とその出典

データ名	年次	出典
食料品の消費者物価指数の推移	2022	水産庁ホームページ
生鮮魚介類の消費者物価指数と1人1年当たり購入量の推移	2022	水産庁ホームページ
一人あたりのゴミの排出量	2024	SSDSE
魚の消費量	2024	SSDSE

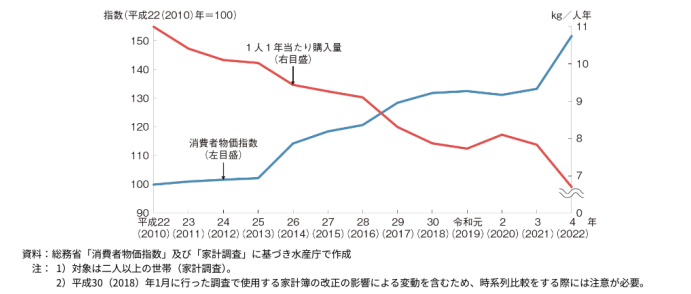
2. データ分析の結果

(1)価格変動について

魚の価格は上昇傾向にあり。生鮮肉類に比べて価格の上がり具合が大きい。



図表1-9 生鮮魚介類の消費者物価指数と1人1年当たり購入量の推移



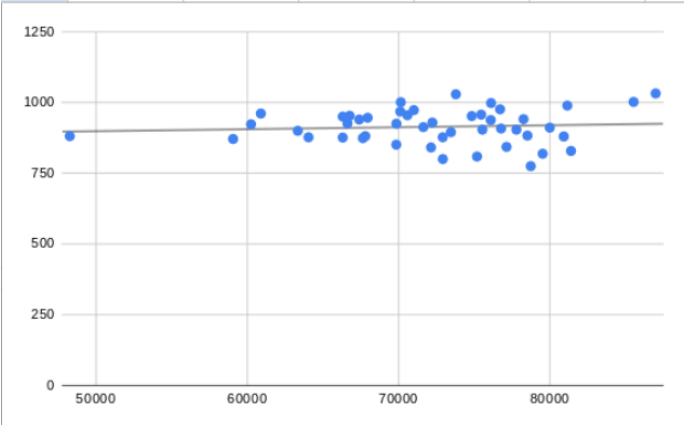
(2)グローバル化について

洋食(肉料理)の普及により魚料理は衰退傾向。魚の消費量が減少。多忙な現代人は時短できる肉料理を選ぶと考えられる。

(3)ゴミの排出量について

魚の可食部は約50%で、調理の過程で半分は廃棄される。ゴミの処理に対して魚を敬遠する人が多いように思われる。

X軸：魚の消費量 y軸：県別一人あたりのゴミの排出量



3. 結果の解釈

- 気候変動、水質汚濁、地球温暖化、沿岸部開発などの環境問題、後継者不足、円安、戦争などによる魚の価格上昇
 - 洋食文化が普及したことや調理の手間を考えると魚料理が避けられてきたことによる魚料理の衰退
- 消費者物価指数(すべての財、サービスの消費価格)に占める魚の購入価格が下がった

4. 今後の展望

今回の分析で得られた魚の消費量低下の要因をもとに、魚料理の衰退について別角度の文献や論文からさらなる有用なデータを探し、考察を深めていきたい。

5. 参考文献

https://www.jfa.maff.go.jp/j/kikaku/wpaper/r01_h/trend/1/t1_4_2.html：水産庁

<https://www.nstac.go.jp/sys/files/SSDSE-E-2024.xlsx>：SSDSE

<https://www.nstac.go.jp/sys/files/SSDSE-C-2024.xlsx>：SSDSE

中価格帯コスメブランドの人気下落

6組 3班 名前 1618 小林奈々緒 1619 近野彩夢 1620 齋藤結衣 1621 佐藤桃夏

1.序論

A. 研究の動機・目的

テーマ選択の背景: ニュースで「中価格帯コスメ業界が衰退している」といった話題が上がっていることを知り、興味を持ったためである。なぜ中価格帯コスメ業界が衰退しているのかを、昨今の大きな変化である、インターネット普及率とともに、紐解いていくことにした。

研究の目的: 本研究は、資料として、昭和からの「品質の良いものを長く使う」という価値観が薄れ「安いものを使い捨てる」という、ファストファッション化する動向が見られるようになった現代社会の背景やインターネット普及率の変化をもとに、「日本独自の企業が倒産すること、日本の産業が衰退する」ということを問題視させ、改善の糸口を見つけることにある。

B. 研究の方法と手段

研究の手順をロジックツリーにてまとめた。

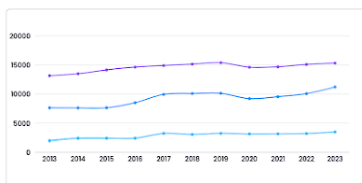


C. データセットの加工

本研究で使用したデータ名とその出典

	年次	出典
中価格帯売り上げ推移		富士経済グループ19078
国内コスメ売上推移	2013~2023	業績・推移データ再生室 花王連結経営成績 KOSE経営成績
メイクを始めた時期	2024	PRTIMES
コスメにける金額	2022	NTTコムリサーチ
国内コスメ業界売上推移中の中価格帯コスメの割合		富士経済グループ20094 21107 23098
好きなコスメブランド	2022	NTTコムリサーチ
買うコスメの種類	2022	NTTコムリサーチ
韓国系コスメの輸入量推移	2012~2022	日本化粧品工業会
コスメを買う場所	2022	NTTコムリサーチ
インターネット普及率	1998~2022	総務相 政策白書
コスメの情報収集方法	2022	NTTコムリサーチ

2.データ分析の結果



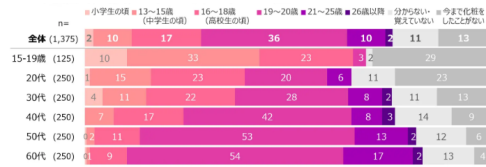
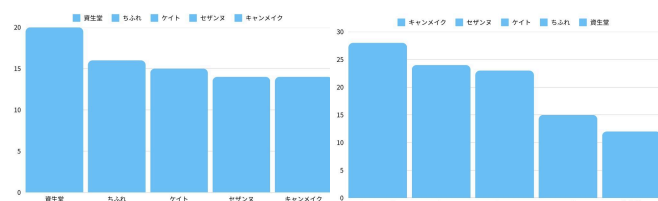
● 資生堂 ● 花王 ● KOSE

左の図は中価格帯コスメ含む大手化粧品会社の2013年度からの売り上げ推移グラフである。緩やかな右肩上がりをしており、この図からは人気の下落は見受けられない。しかしこの三社は中価格帯コスメ以外にも販売しているためコスメ自体の売り上げが上がったともとれる。

下の図は国内コスメ人気ランキングである。(複数回答可)

統計では中価格帯ブランドである資生堂やちふれが人気であることがわかる。しかし、18~29歳ではキャンメイクやセザンヌといったプチプラコスメが人気であることがわかる。このことから、中価格帯は30代以降の年代に人気で、若い世代にはプチプラが人気である。

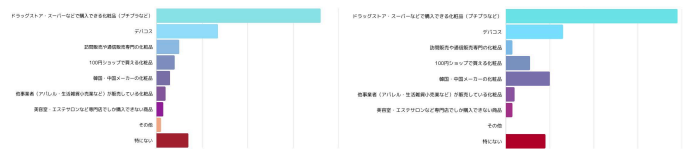
統計 18~29歳



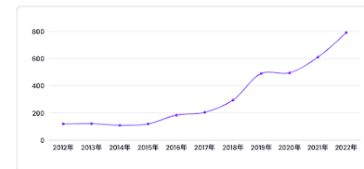
	回答者数	年間購入額	種類別 (※) 年間購入額				年間購入額における割合			
			基礎化粧品	ベースメイクアイテム	メイクアップアイテム	ホイップアップアイテム	基礎化粧品	ベースメイクアイテム	メイクアップアイテム	ホイップアップアイテム
全体 (1,375)	1086	40,057円	20,320円	7,655円	5,143円	6,939円	50.7%	19.1%	12.8%	17.3%
18~19歳 (125)	218	31,167円	11,536円	6,787円	6,525円	6,318円	37.0%	21.8%	20.9%	20.3%
20代 (250)	211	37,639円	17,870円	7,583円	5,475円	6,912円	47.5%	19.6%	14.5%	18.4%
30代 (250)	220	48,423円	25,028円	9,126円	5,813円	8,455円	51.7%	18.8%	12.0%	17.5%
40代 (250)	220	35,588円	19,090円	6,895円	3,860円	5,743円	53.6%	19.4%	10.8%	16.1%
50代 (250)	217	47,387円	28,000円	8,070円	4,053円	7,263円	59.1%	17.0%	8.6%	15.3%

上からメイクを始めた時期と、年代別コスメにける金額のグラフである。グラフから、若い世代になるほど、メイクを始める時期が早くなることからわかる。若い世代もコスメにお金をかけていることがわかる。他の年代より金額が小さいのは、根本的に持っている金額が小さいことや、比較的安いプチプラコスメを多く買っているからだと考える。

買うコスメの種類 統計 18~29歳



上記のグラフから、18~29歳はほかの年代に比べて、中国・韓国メーカーのコスメを多く買っていることがわかる。



左の図は韓国からの化粧品輸入量をあらわしたグラフである。化粧品の輸入量が最近で伸びていることがわかる。

右の図はコスメの情報収集方法をあらわしたグラフである。18~29歳は他の世代よりも、インターネットを通じて、コスメの情報を集めていることがわかる。

3.結果の解釈

コスメ業界は若者(10,20代)とSNSに大きな影響を受けていることが分かった。若い世代は、早くから多くのお金をコスメにかけており、コスメの情報をSNSから得ている。つまり、30代以上から支持を得ている中価格帯は、若者から支持を得ているプチプラブランド、韓国・中国メーカーに押されている。新規顧客を低価格帯に取られてしまっている。中価格帯が盛り返すために、コスメ業界に影響を与える若者を取り込んでいく必要がある。

4.今後の展望

今回は中価格帯コスメブランドの人気の下落の原因に着目して調査を行ってきた。今回の調査で明確になった、風潮の変化に伴った事業拡大の方向性について考えていきたい。

5.参考文献

データセットの加工参照

国内犯罪の特徴を多方面から推察する

6組 4班 名前 1626高橋絢奈 1627高橋彩空 1628對比地凜

1.序論

a. 研究の動機・目的

○動機

近年、問題視されている埼玉県川口市のクルド人問題や日本国内での凶悪犯罪が目立つようになったと感じた。国内犯罪数の特徴や要因を知り、今後の対策や知識として役立てようと思った。

○目的

本研究はグローバル化が進む現代において、多様化する犯罪や外国の人々との関わりについて多方面から理解を深めていく必要があると感じたためである。

b. 研究の方法と手段

日本国内での犯罪にまつわる現状から課題および改善のヒントについて検討した。仮説、およびデータ分析の着眼点についてはロジックツリーでまとめた。



c. データセットの加工

本研究で使ったデータ名とその出典

データ名	年次	出典
総人口	2022	SSDSE
日本人人口	2022	SSDSE
外国人人口	2020	SSDSE
窃盗犯認知件数	2023	令和5年警察白書
自動車盗難の都道府県別認知件数	2023	自動車盗難等の発生状況等について(警視庁生活安全企画課)
外国人による刑法犯検挙件数・検挙人員の推移	2022	令和4年版 犯罪白書

2.データ分析の結果

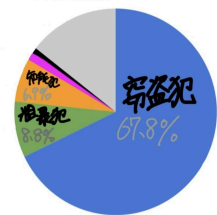
a.外国人と犯罪について

犯罪数の中でも割合の多い、窃盗犯に関して調べることにした。

(図①)県別で、総人口あたりの外国人の割合と、人口1000人あたりの窃盗犯・犯罪数について調べた。

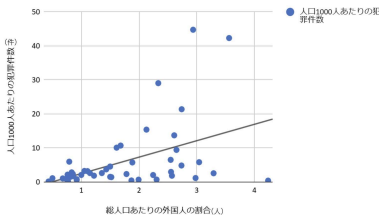
(図②)グラフより、相関はそれほど大きくないと読み取れ、相関係数も0.46であった。

2023年犯罪者数割合



↑図①

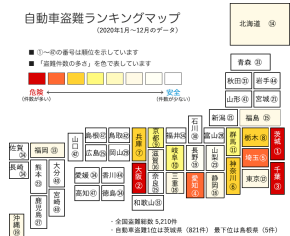
県別外国人割合と窃盗犯罪件数の相関



↑図②

b.港と犯罪件数について

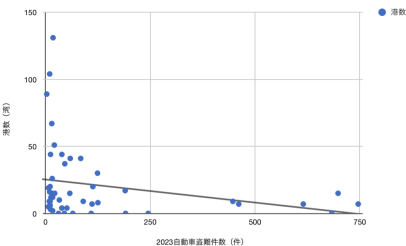
次に、「発生に条件がある犯罪」にフォーカスして調査を行った。NHKの特別番組「盗難車はどこに？犯行拠点に迫る 不正ヤードの実態」から、自動車盗難について調べた。



図より、茨城県が最も自動車盗難が多いとわかる。

『自動車盗難ランキングマップ』より比較的沿岸部の地域が多いと分かった。港から盗難車両の部品を輸出するために、沿岸部の県で盗みを行うのではないかと考察した。そこで、港数と自動車盗難の認知件数との相関を調べた。結果は、相関がみられなかった。

港数と2023年自動車盗難件数の相関



3.結果の解釈

年々、日本の外国人人口が増えている一方で、外国人による検挙人数は減少傾向にある、というデータもあるため、犯罪という面で外国人は影響を与えていないと考えられる。

港と自動車盗難数の相関は見られなかったのは、別の要因があるからだと考えられる。

4.今後の展望

グローバル的な視点から、範囲を絞って、港と犯罪件数についての調査を行い、ロジックツリーの上三つ分を終えることができた。NHKの記事では自動車窃盗が多い地域の特徴として①都会過ぎない②地価が比較的安い③沿岸部へのアクセスがよいことが挙げられているため、今後は港以外で犯罪件数と相関が見られそうな土地や条件や犯罪件数と周辺地域の所得などについて調べ、より範囲を狭めた調査を行っていきたい。

5.参考文献

<https://www.nhk.or.jp/shutoken/chiba/article/020/38/>
<https://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/bouhan./car/2024jiidoushatounan.pdf>

日本の少子化の理由

6組 5班 根岸由依 星野遥奈 八木心羽

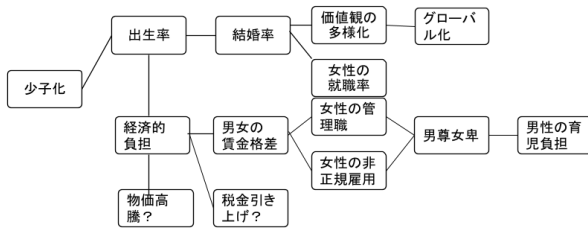
1. 序論

(1)研究の動機・目的

今後の将来を担う若者の問題の一つに少子化があると思ったから。日本
は他の先進国と比べて出生率が低い。私達が大人になったときの税金や
経済活動に大きな影響を及ぼすと思い、出生率が低下していない北欧と
比べながら、少子化の原因や解決方法について研究しようと考えた。

(2)研究の方法と手順(ロジックツリー)

日本の少子化の原因を、他国と比較しながら、日本国内の現状、国民の
育児に対する価値観の2つの観点から分析した。資料や少子化が進んで
いない国の制度、相関係数などをもとにして仮説を立て、分析した結果か
ら日本の課題や改善方法について考えた。



(3) データセットの加工

データ名	年次	出典
人口動態調査 人口動態統計 確定数 出生	1952 ～ 2022	政府統計の総合窓口 (e-Stat)
各国の出生率	1970 ～ 2020	WORLD BANK GROUP Data Catalog
北欧と日本の比較	2024	Genspark
EUの男女賃金格差の現状	2023	EU MAG
出生率と男性の家事・育児などの負担割合の相関図	2021	OECD Gender Data Portal および、World Bank Open Data
OECDの合計特殊出生率ランキング	2021	世界経済のネタ帳
国民負担率の国際比較 (OECD加盟36か国)	2020	財務省

2. データ分析の結果

(1)北欧の3カ国と比較した日本
※左下の統計は日本を示したもの
スウェーデンは増減を繰り返して
おり、ノルウェー、フィンラ
ンドの割合は下がっている。

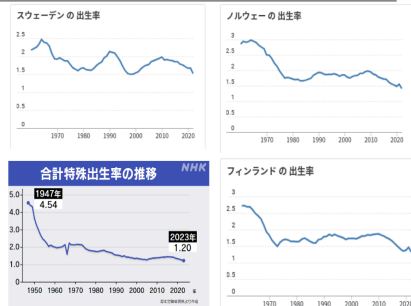
2020年

北欧3カ国: 1.5人前後

日本: 1.20人

減少した割合も日本の割合のほ
うが大きい

→日本の少子化は顕著に進んで
いる



(2)北欧3カ国と日本の税負担率
北欧の3カ国は国民負担率
が高く、日本は低いことがわか
る。

→日本の少子化の原因の一つに、
国民の税負担率の低さがあると

	付加価値税率 (消費税) (≒1)	税負担率 (2000年) (≒2)	国民負担率 (2000年) (≒3)	社会保障費の 対GDP比率 (2000年) (≒4)
スウェーデン	標準消費税 25% 食料品消費税 12%	54.5%	76.5%	32.3%
フィンランド	標準消費税 22% 食料品消費税 17%	49.4%	66.6%	25.2%
ノルウェー	標準消費税 24% 食料品消費税 12%	43.1%	55.9%	25.4%
日本	5% ※2018年2月消費税率8%	23.2%	37.2%	20.5%

考えられる。

(3)国民負担率と出生率の相関関係(先進国:OECD)

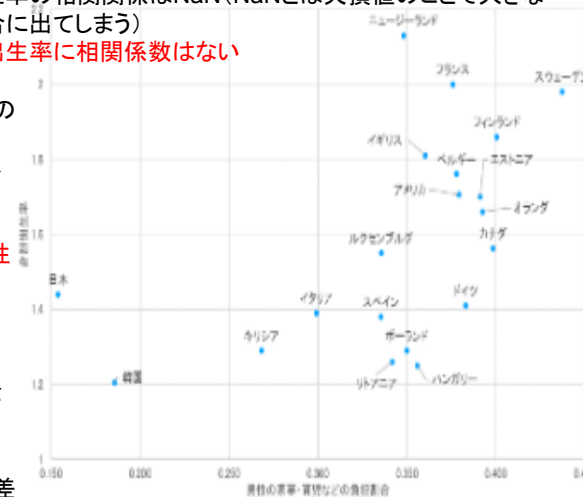
国民負担率と出生率の相関関係はNaN (NaNとは欠損値のことで大きな
外れ値がある場合に出てしまう)

→国民負担率と出生率に相関係数はない

(4)先進国の男性の 育児負担率

育児休暇を取得し
ている国

→出生率が高い
家事や育児は女性
がするもの
という概念をなく
し、男性が子育て
に携わりやすくな
ると出生率が上が
ると考える。



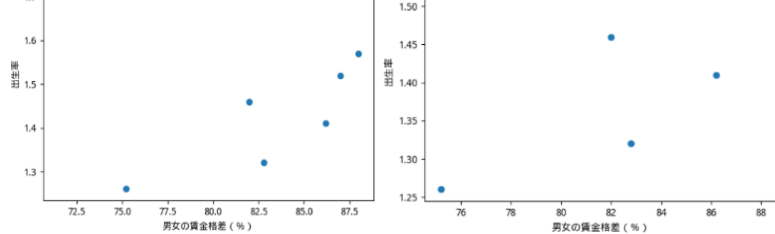
(5)男女の賃金格差

相関係数は-0.22で

相関があるとは

言えない。フラン

スの値が他国と大きくはなれているので除くと相関係数は0.85で、相関が
あると言える。理由はフランスが少子化対策を行っているから。



3. 結果の解釈

これらの分析結果より、日本の少子化は男性の育児負担率や育児取得
率の低さ、男女の賃金格差に大きく影響を受けていることがわかった。育
児中も安定した賃金があり、夫婦で育児ができる環境を整えていくべき
だ。

4. 今後の展望

今回の研究では、日本の少子化の原因となる要素を分析し、現状の改
善につながるヒントを得た。次の研究では北欧の少子化制度の例をさらに
調べたい。少子化制度の方向性や、制度の普及が進んでいない中小企
業への対応などの違い等を分析できれば、日本の制度にも応用してこの
現状を食い止められるだろう。出産はあくまで個人の選択だが、経済的理
由や育児に対する偏見でそれを諦めてしまう人々を救うためにどうすべき
か調べていきたい。

5. 参考文献

日本の少子化はなぜ失敗したのか？結婚・出産が回避される本当の原因/2020/光文社/山田昌弘
欧州出張特集『欧州 ～スウェーデンの少子化対策から学ぶ～』(2023年

群馬県のゴミ問題の現状

6組6班 名前 湯澤愛梨 横田明日実 吉沢実莉

1. 序論

研究の動機・目的

世界的に問題になっているゴミ問題について、視点を群馬県に絞って調べ、群馬県に住む高校生として今すべきことを明確にすることを目的としている。

研究の方法と手順

本研究を進める上で、ゴミ排出量が多くなる要因として、「ゴミ問題に対する意識」の観点で分析した。



a. データセットの加工

本研究で使用したデータ名とその出典

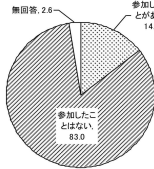
データ名	年次	出典
1人1日当たりの排出量	2024	独立行政法人 統計センターSSDSE-基本素材
一人1日あたりのゴミ排出量 リサイクル率	2022	都道府県別・市町村別1人1日当たり排出量及びリサイクル率の状況(令和4年度実績)
一人当たりの地方税負担	2024	総務省統計局 基礎データ(A~L)

2. データ分析の結果

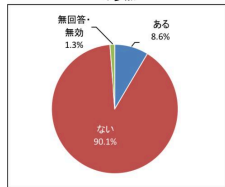
a. ゴミ問題に対する意識の違いについて

まずゴミ排出量が全国的に見て少ない京都府の住民と群馬県の住民のゴミ排出等の問題に対する意識や知識の差があるかどうかを比較する。

【ゴミ問題に関する学習会等への参加経緯】



⑦ゴミ問題に関する研修会や勉強会等の参加

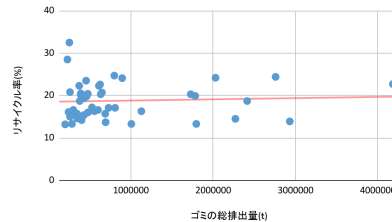


※右図は京都府、左図は群馬県
比較するとあまり変わらないことがわかる。

b. ゴミ排出量に関係することはなにか

そもそもゴミ排出量は何の影響を受けているのか調べる。

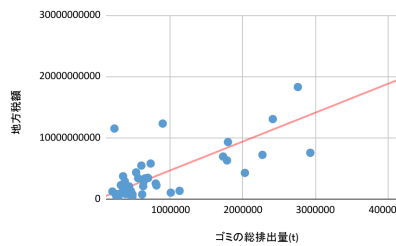
リサイクル率とゴミの総排出量



相関係数は-0.17ととても低いものだった。
よって、ゴミ排出量が少ないからといって、リサイクル率が高いわけではないことがわかる。

地域によって変化するものの一つとして、地方税との関係も調べた。

ゴミの総排出量と地方税



県別のゴミの排出量と、都道府県民一人当たりの地方税の負担(便宜上×10の14条)
相関係数は0.81と強い相関が見られた。よって、ゴミの総排出量が増加すると、ゴミ処理にかかる一人当たりの地方税の金額が大きくなっていることがわかる。

3. 結果の解釈

これらの分析結果により、私たちがゴミの排出量を減らすことで、ゴミ処理にかかる地方税が減少し、より有効的に税収を使うことができるのではないかと考えた。また、ゴミ排出量が全国的に見て多い群馬県の現状改善のために、ゴミ問題に対する直接的な改善から間接的な改善方法まで、県民の生活自体を考えた総合的かつ政治的改善を少しずつしていく必要があると感じた。

4. 今後の展望

今回の研究で、全国的に見てゴミの排出量に影響のあるものを調べていくことが問題解決の鍵を見つけるために必要なことだと改めて思った。群馬県の自治体等が行っているゴミ問題に対する直接的な改善策なども調べていきたい。今の群馬県の政策を考慮して考えていけば、私達高校生が今できることが明確になっていくだろう。

5. 参考文献

都道府県別 ゴミ処理にかかる支出に占める地方税額

<https://www.stat.go.jp/data/shihyou/pdf/shihyou2024-2.pdf>

伝統工芸品はなぜ衰退するのか

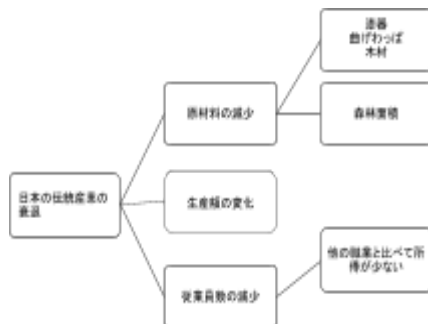
7組 1班 名前 飯野紗瑛子 磯陽麻莉 伊代野堇 臼井清華

1. 序論

a. 研究の動機・目的

地方の活性化としてその地域の伝統工芸品は魅力を伝える方法の一つですが年々、伝統工芸品の衰退が嘆かれています。その原因を知り、解決方法を考えることで地方の活性化につながるできないかと考えました。

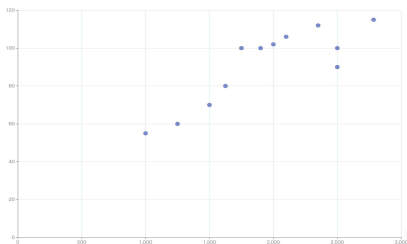
b. 研究の方法と手順



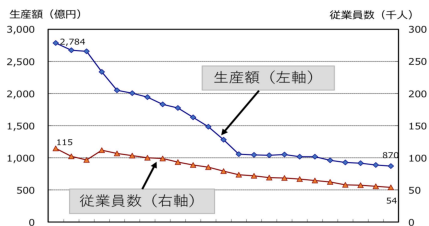
ロジックツリーに分かるように、伝統工芸品が衰退しつつある原因を主な3つに分類して、原因を裏づけるデータを調べた。

2. データ分析の結果

a(生産額と従業員数の関係 縦軸:従業員数、横軸:生産額)

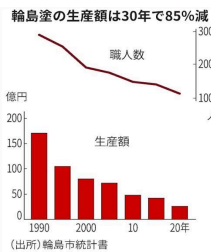


まずは生産額と従業員数の関係を調べた。相関係数は1に近いことが分かった。次に示す折れ線グラフで見ると、従業員数も生産額も減少していることが明らかである。しかし従業員数と生産額の関係は伝統工芸品衰退を決定的に示せるものではないのでより細かく分析する必要があると思う。

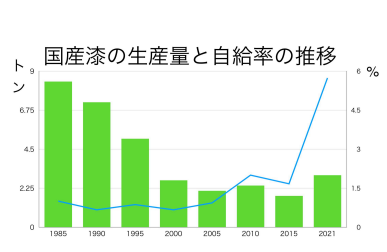


b 原材料の価格の高騰および原材料の減少 具体例(漆器:輪島塗り)

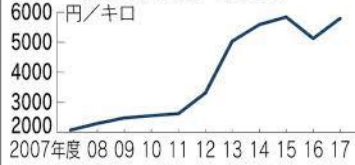
〈グラフ2〉



〈グラフ1〉



中国産の生漆は値上がり傾向だ (通関統計の平均価格)



〈グラフ3〉

3. 結果の解釈

グラフ1から、国産漆の生産量が年々減少してきていることが分かる。また、同HPからは、現在漆器の生産において中国産の漆に91%頼っていると書かれていた。グラフ3から分かるように、中国産の漆の価格は上昇してきている。ここでは輪島塗りを例に取り、生産額を調べたところ、グラフ2より減少していることが分かった。ここから国内産の原材料不足、原材料調達にかかる費用の高騰で、漆器の生産費用が増し、商品の価格が高くなったと考えられる。この製品の価格高騰が、需要の低下を招いていると考えた。

4. 今後の展望

今回、伝統工芸品が衰退している主な理由をグラフや表をもとに客観的に判断することができた。今後は、この状況をどのようにして改善していくのか、他地域の取り組みや国際的な取り組みを参考に提案できるような探求していきたい。

5. 参考文献

一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会

日本経済新聞

https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/2211/spe1_02.html

Necessity of English

7組 2班 名前 宇津木 浦中 瓜生 遠藤

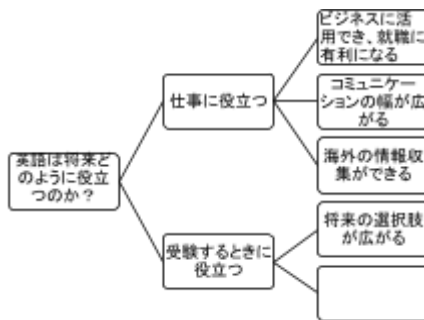
1. 序論

a. 研究の動機・目的

英語は将来使うため、大事だと言われている。そこで自分たちの将来に英語は本当に必要とされているのかを知りたいと思い、分析することにした。

b. 研究の方法と手順

ビジネスや海外観光のために英語に触れる人が多いのではないかと考えた。



c. データセットの加工

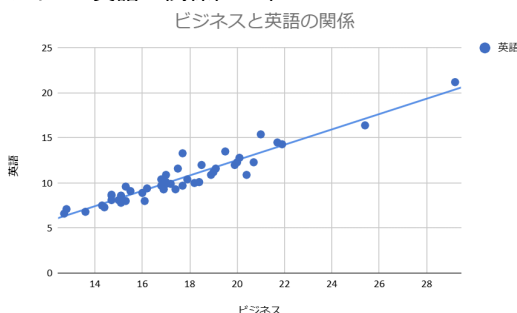
本研究で使用したデータ名とその出典

データ名	年次	出典
英語	2023	SSDSE-D-2023.xlsx
商業実務・ビジネス関係(総数)	2023	SSDSE-D-2023.xlsx
海外旅行・観光	2023	SSDSE-D-2023.xlsx
言語影響力指数	2016	staff15.pdf

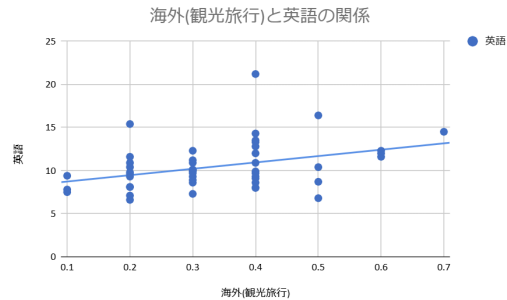
地理: 旅行先や地域などの言語の通じる範囲によって評価
経済: GDPや国民1人あたりのGDPや輸出額などから判断
コミュニケーション: 母語話者数、第2外国語話者数などから判断
知識・メディア: インターネット上での情報量や映画・アカデミック論文などでの使用度から判断
外交: 国連通貨基金や国連、個々の国家よりも権力を持つ組織などで見られる国際力から判断

2. データ分析の結果

a. ビジネスと英語の関係(0.94)



b. 海外(観光旅行)と英語の関係(0.37)



c. 言語影響力指数について

図表 1 言語影響力指数 (Power Language Index) ランキング

	言語	点数	母国語話者数 (百万人)	項目別順位				
				地理	経済	コミュニケーション	知識・メディア	外交
1	英語	0.889	446.0	1	1	1	1	1
2	中国語	0.411	960.0	6	2	2	3	6
3	フランス語	0.337	80.0	2	6	5	5	1
4	スペイン語	0.329	470.0	3	5	3	7	3
5	アラビア語	0.273	295.0	4	9	6	18	4
6	ロシア語	0.244	150.0	5	12	10	9	5
7	ドイツ語	0.191	92.5	8	3	7	4	8
8	日本語	0.133	125.0	27	4	22	6	7
9	ポルトガル語	0.119	215.0	7	19	13	12	9
10	ヒンディー語	0.117	310.0	13	16	8	2	10

(出典) Chan (2016) より筆者作成。

3. 結果の解釈

aよりビジネスに触れる機会が多い人ほど英語に触れる機会も多いことがわかった。

bよりビジネス以外の場面ではあまり英語が必要とされていないことがわかる。

cより英語は様々な面で影響力が高いため最も将来に必要とされている言語であることがわかる。

4. 今後の展望

これら三つのデータによって英語は最も世界に影響を与える言語であるとともに、様々な面で考える上で大切な言語であることがわかった。英語と地理・外交などには関係があることから、それがもたらす経済効果について調べていきたいと思った。

5. 参考文献

rarejob.com

<https://www.rarejob.com/englishlab/column>

<https://solo-language.com>

ジェンダーギャップ指数が下から28位の日本

7組 3班 名前 荻原明音 小野里杏 菊地里菜 久保田さくら

1. 序論

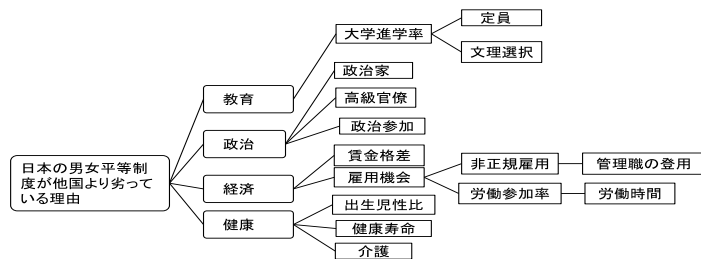
a. 研究の動機・目的

本研究の動機は、将来、社会に出るにあたり男女平等がどのくらい進んでるかを調べたところ、世界で日本は下から28位と劣っていることがわかり、原因を探ろうと思ったためである。

また目的は、なぜ日本の男女平等度は地域によって偏っているのか、他国に比べ低いのかを分析して、その課題の解決策を見つけ出すことにある。

b. 研究の方法と手順

本研究は、日本の男女平等度が劣っている要因のうち教育、政治、健康の三つを分析した。それぞれ仮説を立てて分析し、日本の現状の課題および改善のヒントについて検討した。



c. データセットの加工

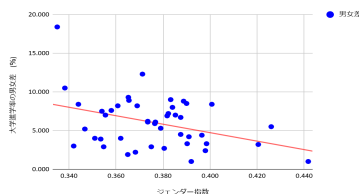
本研究で使ったデータ名とその出典

データ名	年次	出典
男女平等度 (%)	2024	データから読む 都道府県別ジェンダーマップ
大学進学率 (%) 男女差	2021	文部科学省
子育て支援金 (円)		総務省
18歳未満の子がいる有配偶男女の役割差	2012	Newsweek
国政選挙における年齢別投票率	2019	文部科学省

2. データ分析の結果

①「男女の大学進学率の差」と「ジェンダー指数」の相関関係

仮説：男女の大学進学率に差のある都道府県ほど、ジェンダー指数が低くなる。



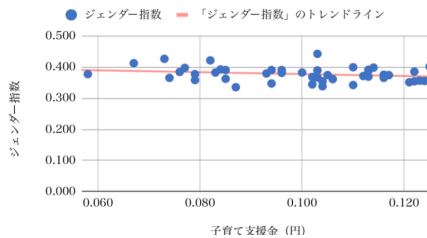
※ジェンダー指数は、教育、経済、政治、行政の分野で算出されたデータの平均を出した数値で、1に近いほど平等である。大学進学率の男女差は、0に近いほど平等であると言える。

考察：グラフより、二つの数値には相関関係があると言える。

②「育児サービス」と「ジェンダー指数」の相関関係

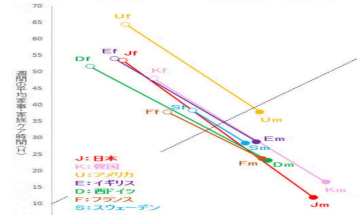
仮説：子育て支援金が多い国ほど、男性が仕事の時間を家事にまわせるため、ジェンダー指数が高くなる。

ジェンダー指数 と子供一人当たりの子育て支援金



考察：相関は-2.3であり関係がないことがわかった。そこで家事の役割分担について調査した。

図22 18歳未満の子がいる有配偶男女の役割分担

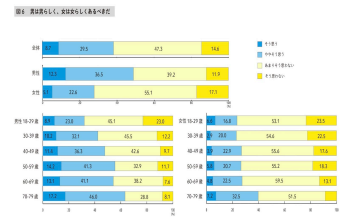
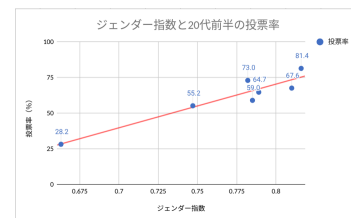


※有配偶男女：既婚者

考察：日本ではスウェーデンのようにジェンダー指数の高い国と比べて女性は家庭、男性は仕事といった考えや意識が強いためジェンダー指数が低いのではないかと考えた。

③「投票率」と「ジェンダー指数」の相関関係

仮説：ジェンダー意識の高い20代前半の投票率が高いほど、政治にその意見を反映させることができるため、ジェンダー指数が高くなる。



考察：相関は0.94とかなり高い相関が見られた。比較的ジェンダー意識の高い若者が選挙という形で政治に参加することでジェンダー指数も高い値になるのではないかと考えた。

3. 結果の解釈

これらの分析結果より、日本の男女平等度が劣っている要因は、大学進学率、家事時間、投票率と密接な関わりがあるとわかった。特に日本は比較的ジェンダー意識のある若者の投票率が低かった。よって日本の男女平等制度を改善するには、家事や政治に対する国民の意識を変えることが必要である。

4. 今後の展望

本研究では、日本の男女平等度が劣っている要因を分析し、解決策のヒントを得た。しかし、日本以外のジェンダーギャップ指数が低い国の投票率のデータを見つけられず、相関関係がわからなかったため、次の研究段階としたい。分析できれば、より信頼性のあるデータとして扱うことができ、その結果を国民に広めることで日本のジェンダーギャップ指数の向上に繋がると思う。

日本における外国人人口増加の影響

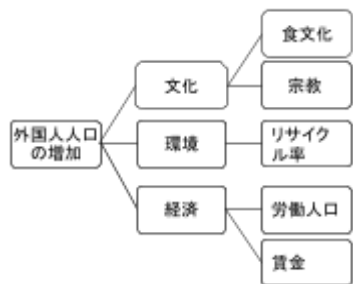
7 組 4班 名前 黒澤美緒 設楽千聡 清水このか 鈴木もえ

1. 序論

a. 研究の動機・目的

日本における外国人人口は増加しており、社会では多くの意見が議論されています。そこで私たちはそれらの問題が外国人の人口増加と本当に相関があるのか、またそれはなぜなのかを調べることでこのからのグローバル社会を生きる世代としてどのような行動をすべきなのか理解を深めたいと考えたいと思います。

b. 研究の方法と手順



外国人人口増加により考えられることを三つの観点で予測し、今回は経済の視点から「労働人口」、「賃金」それぞれとの結びつきを導きたいと思います。

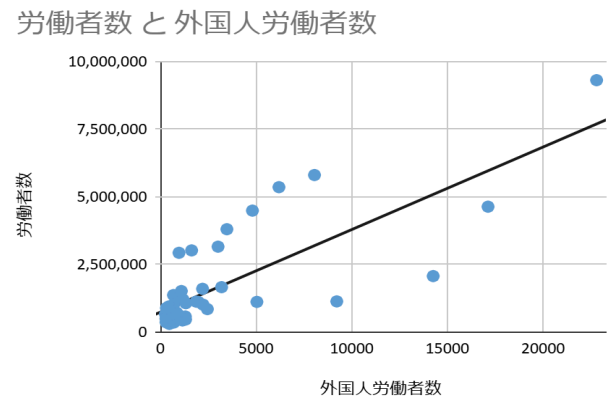
c. データセットの加工

本研究で使用したデータ名とその出典

データ名	年次	出典
都道府県別外国人雇用事業所数及び外国人労働者数	2007	外国人雇用状況報告(厚生労働省)
都道府県別外国人人口 都道府県別総人口	2024	SSDSE-E
地域別最低賃金の全国の一覧	2024	厚生労働省

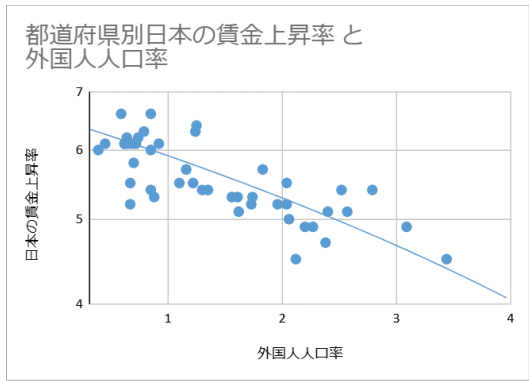
2. データ分析の結果

a. 労働人口と外国人労働者数の関係



グラフより、労働者数が多い都道府県ほど外国人労働者数も多いことがわかる。都道府県別労働者数と外国人労働者数の相関係数は0.78であり、2つのデータの関係は非常に強いことがわかる。

b. 外国人人口率と賃金の上昇率



相関係数は-0.62であり非常に強い負の相関がみられる。よってグラフより外国人人口割合が高いほど賃金上昇率は低くなることがわかった。

3. 結果の解釈

- a.労働者数と外国人労働者数は比例していることから、今後、日本の労働者数の増減によって外国人労働者数が変化すると考えられる。
- b.外国人人口率が上がるほど賃金上昇率が抑えられることから、外国人人口の推移は日本の賃金の上昇率の変動に大きな影響をもたらす要因の一つだと考えられる。

4. 今後の展望

- ・外国人労働者が増加しているが、日本人労働者の雇用に影響を与えたり、不法滞在をする外国人が増加する可能性もあると考えられる。
- ・今後は外国人人口の増加によりなぜ賃金上昇率が抑えられるのか原因を探りたいと思う。またその他のあらゆる影響を受け、賃金上昇率は変動していると思うので外国人人口の割合がどの程度影響をもたらしているのか諸外国の実情と比較し検証していきたい。

5. 参考文献

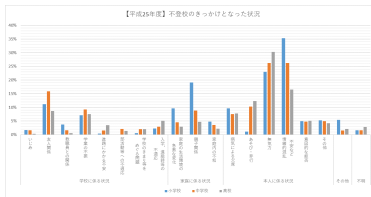
<https://global-saponet.mgl.mynavi.jp/know-how/263>
<https://www.mhlw.go.jp/stf/wp/hakusyo/kousei/19/bacldata/01-01-08-02.html>
<https://www.works-i.com/column/wage/detail004.html>
<https://www.mhlw.go.jp/houdou/0112/h1225-2e.html>

無気力・不安は何に由来するか

7組5班 名前 関根愛灯 高橋由夢 田中優亜 田村梅乃

1. 序論

a. 研究の動機・目的



不登校の主たる要因の約半数が「無気力、不安」となっており、その割合は年々増加傾向にある。しかし、例えば「無気力」という状態に至るまでの経緯や要因は明らかではなく、実態が十分にわかっていない。不登校に至る要因や実態が明確でないことは、不登校の予防や支援に対する対策をも不明瞭にする。本研究の目的はその要因の調査によって不登校の予防や支援に繋げることにある。

b. 研究の方法と手順

不登校を病気・経済的理由による欠席を除き、年度間に30日以上欠席をすることと定義し、不登校による小中学校長期欠席児童比率を不登校による長期欠席者数÷在籍児童生徒×100とした。

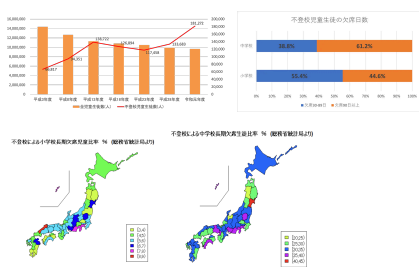


c. データセットの加工

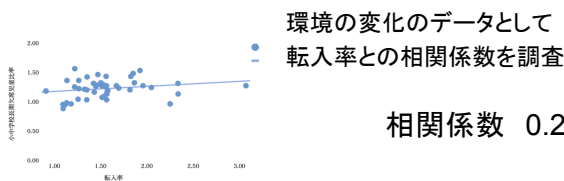
データ名	年次	出典
不登校による小中学校長期欠席児童比率	2019	文部科学省 小中学校の長期欠席(不登校等)
転入率	2019	独立行政法人 統計センター SSDSE-B
いじめ件数・いじめ率	H17-R4	不登校率 新しい学校選び ニュースク いじめ件数 文部科学省
スマホ所持率	2015-2023	子どものスマホ選び ママベディア
スクールカウンセラー配置率	2019	文部科学省 学校保健統計調査

2. データ分析の結果

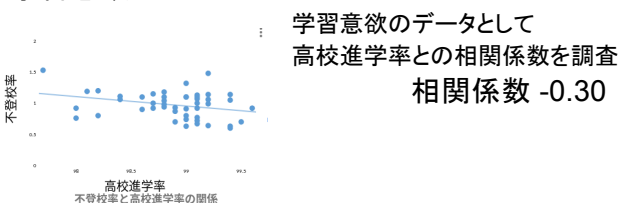
a. 小中学校における不登校の現状



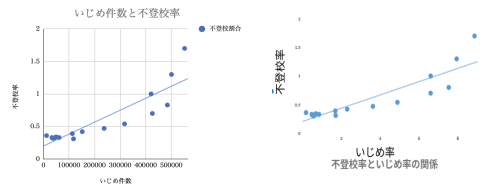
b. 環境の変化について



c. 学習意欲について



d. いじめ件数について



相関係数

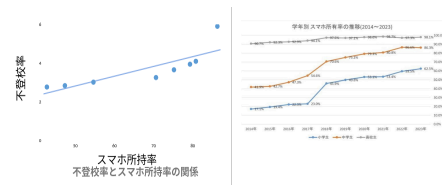
いじめ件数

0.86

いじめ率

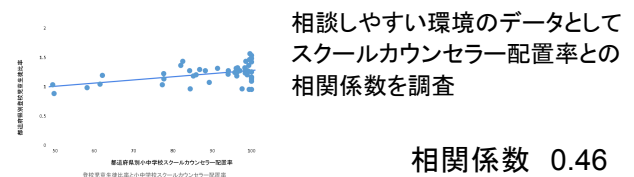
0.89

e. 中学生のスマホ所持率について



相関係数 0.82

f. 相談しやすい環境について



3. 結果の解釈

これらの分析結果より、不登校による長期欠席の原因の約半数を占める無気力・不安の環境要因は多岐にわたるということがわかった。今回の研究で得ることのできたデータの中には高い相関係数のものもあるが、それらのデータが他の要因に影響を受けている可能性もあるため、単純に不登校による小中学校長期欠席児童比率との相関係数が高いものが環境要因であると判断することは難しい。

4. 今後の展望

次の研究段階として、どのような不登校の予防や支援に対する対策にどのくらいの効果があるのかを調べたい。どのような不登校の予防や支援に対する対策が有効かを分析できれば、不登校による小中学校長期欠席児童比率の改善に繋がると思う。

5. 参考文献

児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査・調査の概要
https://hana-growup.com/cause/#index_id1
https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?stat_infid=000031925058
(学校保健統計調査 / 令和元年度 都道府県表 文部科学省)
<https://www.futoukou-navi.com/note/kihon/genintotaisaku.html#>
学校基本調査 年次統計「ファイル」統計データを探す
<https://www.futoukou-navi.com/note/kihon/genintotaisaku.html>
不登校の主な8つの原因とその対応方法

7組6班 名前 濱名優花 中村早有紀 塚越温佳

<https://spaceshipearth.jp/decreasingbirthrateandagingpopulation/>
<https://chiba-hatakakata.com/column/358/>
<https://www.smrj.go.jp/recruit/environment.html#:~:text=>
<https://www.iil.go.jp/kokunai/blt/backnumber/2022/03/031-033.pdf>

日本の幸福度を上げるには

7組 7班 名前 東菜乃香 茂木莉穂 矢沼小桜

1. 序論

a. 研究の動機・目的

世界幸福調査によると、日本は54位であり、先進国の中では最低順位の結果である。本研究の目的は、日本の幸福度が低い理由を分析し、幸福度を上げるための要因を探ることにある。

b. 研究の方法と手順

本研究は、日本の幸福度の低さの要因をまず都道府県で比較し、幸福度と関係のあった項目を諸外国と比べてみた。関係性、経済社会状況、環境の3つの観点で分析し、それらをもとに日本の現状における課題および改善のヒントについて検討した。



c. データセットの加工

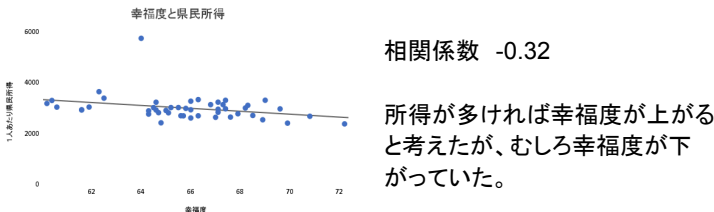
本研究で使用したデータ名とその出典

データ名	年次	出典
OECDのFactbook2010	2000	幸せ経済社会研究所
都道府県幸福度ランキング	2024	地域ブランドNEWS
SSES-E-2024	2024	独立行政法人統計センター
World Happiness Report	2021	セカイハブ
The World Factbook	2024	アメリカ合衆国中央情報局(CIA)

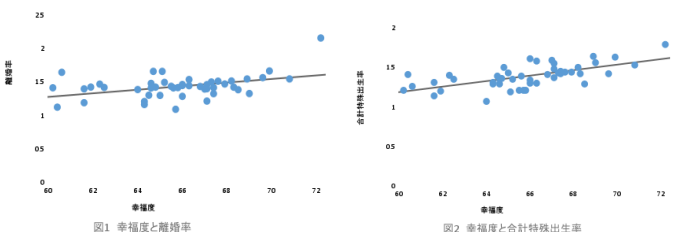
2. データ分析の結果

a. 日本国内の状況

仮説1: 県民所得が影響しているのではないかと

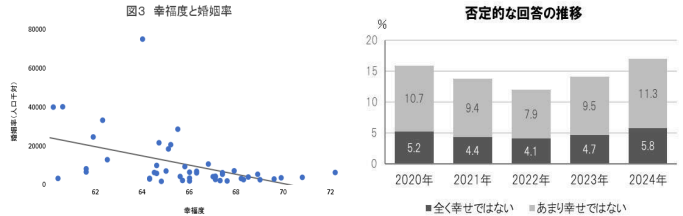


仮説2: 家族の関係が影響しているのではないかと



相関係数 0.42

相関係数 0.64

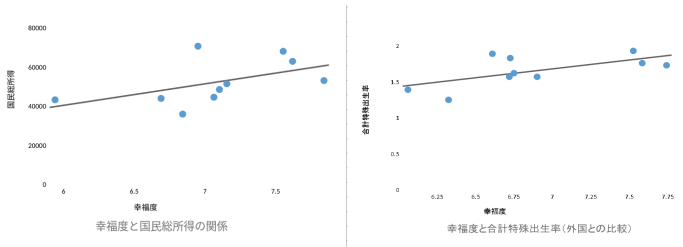


相関係数 -0.47

図4

図1・図3より、離婚率が高いと幸福度が下がり、婚姻率が高いと幸福度が上がっていることがわかる。また、図2より、合計特殊出生率が高いと幸福度が上がっていることがわかる。図4からは、コロナ禍である2022年に幸福度が高まっているが、コロナ禍が落ち着くと幸福度は低下していることがわかる。

b. 日本と諸外国の比較



相関係数 0.52

相関係数 0.63

日本と諸外国(G7と幸福度TOP3の国)で比較すると、おおむね国民総所得が多いほど幸福度は上がっていることが分かった。また、合計特殊出生率が高いほど幸福度は上がっていた。

3. 結果の解釈

国民総所得と県民所得の相関が似ていない要因を調べれば日本の幸福度が低い理由を見つける手がかりになると考えた。コロナ禍による不安が高まった2022年に幸福度が高まっている理由は、家族が一緒に過ごす時間が増えたことだと考えた。また、幸せな結婚生活を送れていない人が多いと考えた。その理由として、子どもの養育に負担を感じ、幸福度が下がっているのではないかと推測した。しかし、合計特殊出生率が高いと幸福度が上がっているため、子どもが多いことによる負担で幸福度が下がっているわけではないといえる。幸福度を上げるためには、残業時間や労働時間を減らして家族と一緒にいる時間を増やすのが良いと思う。

4. 今後の展望

幸せな結婚生活が送れていない人が多い理由、日本の幸福度を上げる方法をもっと突き詰める。娯楽費用のうち、どのくらい何に使われているかを幸福度と絡めて調べる。

5. 参考文献

<https://news.tiiki.jp/articles/4901> (地域ブランドNEWS)